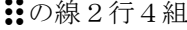
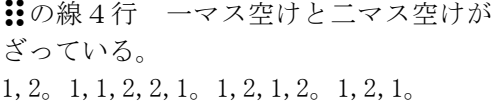
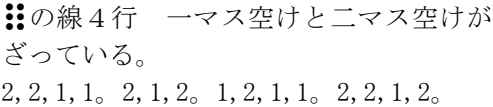
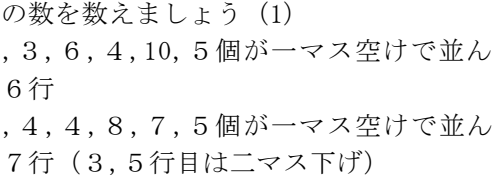
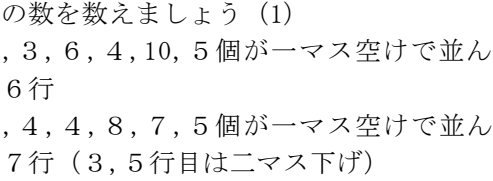
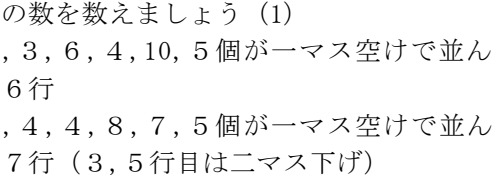





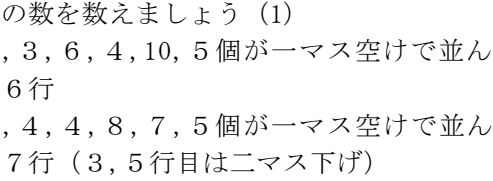
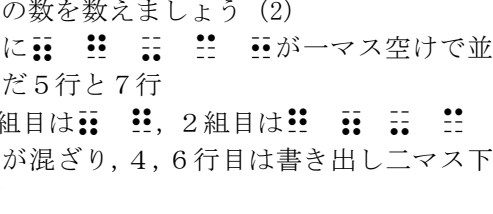
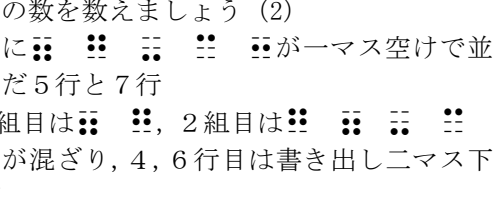




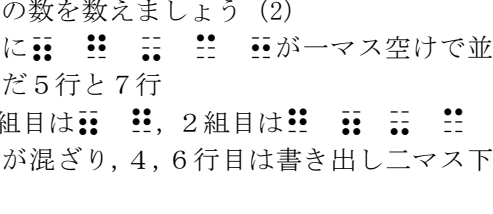

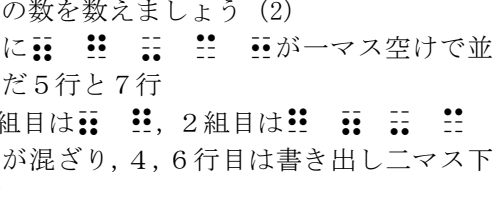
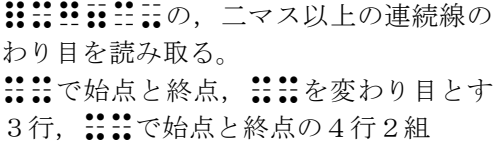
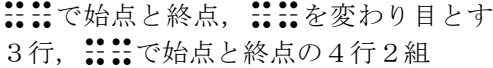
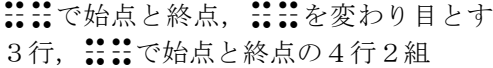
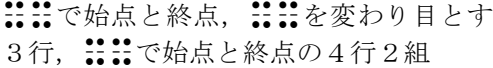
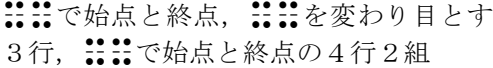
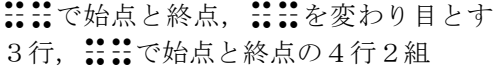
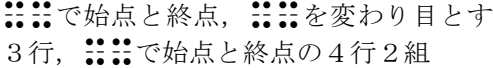
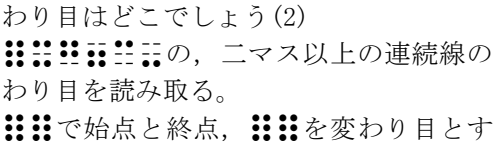



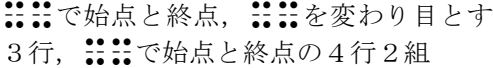
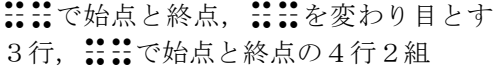
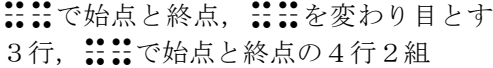
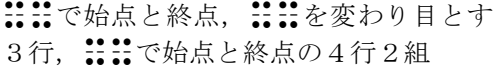
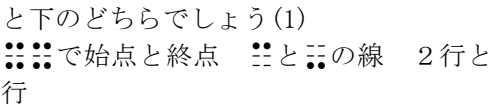
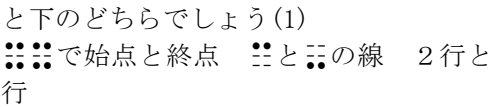
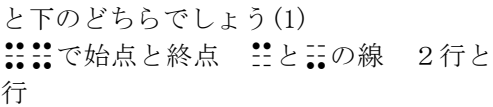
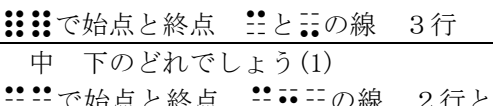
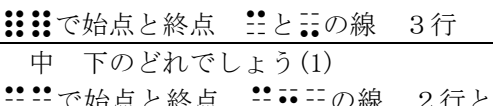
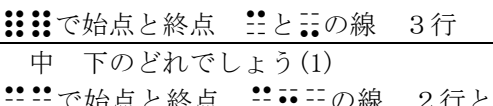
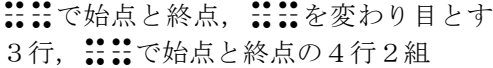
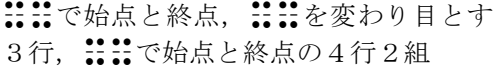
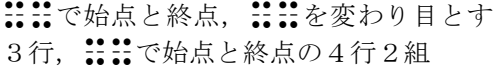
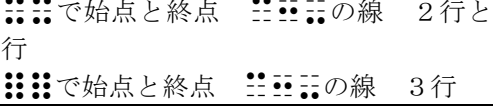
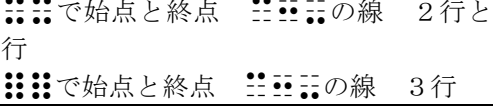
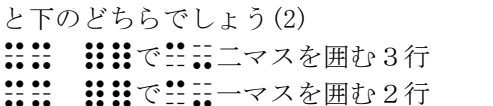
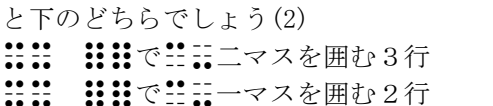
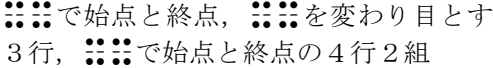
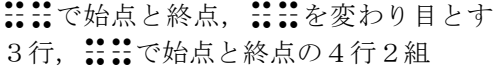
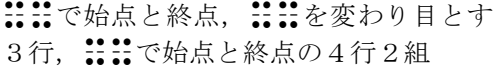
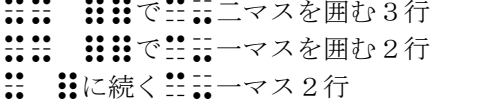
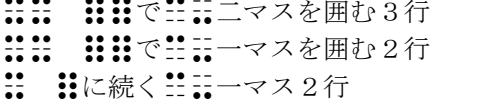




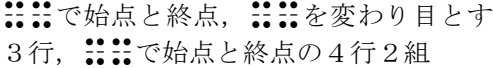
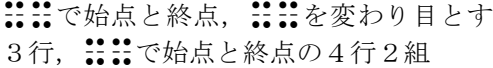
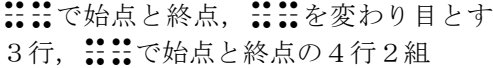


### 3 参考資料



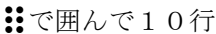
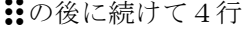




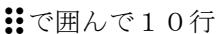
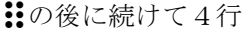
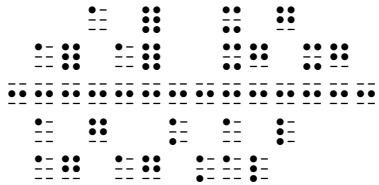





#### 資料1 点字導入教材 「点字を学ぼう」 片面書き

- ・ P 1～28 までは、上下の行の干渉を避けるために行間をやや広めの 9 mm としてある
- ・ 入門期には、平らで適度な堅さの面に置かれた点字用紙で学ぶことが望ましい。必要に応じて同様の教材のシートを用意して指導する。

ページ	内 容	指 導 上 の 留 意 点
1	両手で正しくたどりましょう(1) ⠠の線 中間に一マス空け2行 連続2行 ⠡の線 中間に一マス空け2行 連続2行	・初学の児童のための教材として、最初は児童の指の大きさにあった負担のない線からたどることとした。また、行の中間に空きマスを設けて、一息つけるような工夫をしてある。
2	両手で正しくたどりましょう(2) ⠢の線 中間に一マス空け2行 連続2行 ⠣の線 中間に一マス空け2行 連続2行 ⠤の線 中間に一マス空け2行 連続2行	・両手指で行の終わりまで正しくたどる。 ・両手指で行の終わりから戻り、行替える。 ・両手指で行をたどり、行の中程を過ぎたら右手だけで残りをたどる。左手は先に改行し、右手が追隨する。 ・両手の指先は立てずに行の上に置き、両手の人差し指を軽く接触させてたどる。指先の腹でたどるが、押さえすぎないように注意する。 ・両手指の行たどりに習熟したら、左右それぞれの指で別々にたどる。
3	両手で左から右までたどりましょう(1) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠の形で2行2組, 3行1組	・指先を立てずに指先の腹で正しくたどる。 ・起点に両手指を正しく置き、終点までたどり、両手指で戻る。
4	両手で左から右までたどりましょう(2) ⠡⠡⠡⠡⠡⠡⠡の形で2行2組, 3行1組	・起点に両手を置き、右手だけで終点までを往復する。さらに終点に両手を置き、起点までを左手だけで往復する。
5	始まりがへこんだところを探しましょう(1) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠の形で3行2組 1行目と2行目は、2マス下げた書き出し	・文章を読む際に不可欠な、書き出し(段落)意識のレディネス教材である。 ・点字の読みに熟練してくると行頭を縦に指で触れて段落の箇所を見つけるが、ここでは縦に触れることをねらいとせず、書き出し位置が上の行と違うということを意識できたら良い。
6	始まりがへこんだところを探しましょう(2) ⠡の線10行 2, 5, 7, 9行目は、2マス下げた書き出し	・書き出し位置がどのくらいへこんでいるか(2・4・6マス)、言葉に出せるとよい。
7	始まりがへこんだところを数えましょう ⠢の線5行1組と9行1組 1組目の2, 4行目と2組目の3, 7行目は、2マス下げた書き出し 2組目の2, 5行目は4マス下げた書き出し、8行目は6マス下げた書き出し	・声に出して数えたり、「2行目がへこんでる！」などと言葉にしたり、数える速さを友だちと競ったりなど、言葉も育てることを意識して扱ってほしい。
8	一マスあけの切れ目を探しましょう ⠤の線2行4組 空いた箇所は3回と4回, 2回と5回, 6回と5回, 6回と6回	・一マスあけのイメージ形成のための行たどり教材である。 (一マスあけは6箇所までとする。行末は数えるべきかどうか判断が分かれるので、この教材には入れない。)
9	一マスあけの切れ目を数えましょう ⠤の線4行2組 空いた箇所は、3, 4, 5, 5回と3, 6, 4, 5回	・声に出して数えたり、「ここ、あいてるよ。」などと言葉にしたり、数える速さを友だちと競ったりして、言葉も育てることを意識して扱ってほしい。

10	<p>二マスあけの切れ目を探しましょう            空いた箇所は2回と3回，4回と3回，5回と6回，3回と4回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二マスあけのイメージ形成のための行たどり教材である。（二マスあけは6箇所までとする。行末は数えるべきかどうか判断が分かれるので、この教材には入れない。）</li> </ul>
11	<p>一マスあけの数を数えましょう            二マスあけの数を数えましょう  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一マスあけまたは二マスあけの意識化をするための教材である。</li> <li>・一マスと二マスのスペースを指で正しく触知できるようにする。</li> <li>・声に出して数えたり、「あった!」「これは二つ空いているね。」などと言葉にしたり，数える速さを友だちと競ったりなど，言葉も育てることを意識して扱ってほしい。</li> </ul>
12	<p>          2, 3, 6, 4, 10, 5 個が一マス空けで並んだ6行          3, 4, 4, 8, 7, 5 個が一マス空けで並んだ7行（3, 5行目は二マス下げ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・の数を数えながら，一マスの感覚を培う教材である。</li> <li>・始まりが二マス下がった行も数え落としがないようにする。</li> <li>・でない点 (    ) が混ざり合うなかで，確実に1マスを意識できるようにしていきたい。</li> <li>・を探しながら行をたどるなかで，「点が少ないよ。」「よくさわってみるね。」などと，言葉も育てることを意識し，楽しみながら取り組めるようにしてほしい。</li> </ul>
13	<p>            1組目は ，2組目は   が混ざり，4, 6行目は書き出し二マス下げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行途中における変化の弁別のための教材である。</li> <li>・両手指で正しく行をたどりながら，一マスの感覚（枠組み）を横の段（①④，②⑤，③⑥の点）のイメージでとらえる。</li> <li>・最初は変化のたびにに戻ることにしているが，難易度を変えて配列してある。</li> <li>・であっても，指の上下の動きを排除して，常に指の腹でなめらかにたどる動きを身につけたい。</li> </ul>
14	<p>変わり目はどこでしょう(1)            二マス以上の連続線の変り目を読み取る。            二マス以上で始点と終点，を変り目とする3行，で始点と終点の4行2組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行途中における変化の弁別のための教材である。</li> <li>・比較しやすい上下から行い，それを合わせたをもとに，最初と最後はやで明確にした。</li> <li>・「上，中，下」と声に出しながら行をたどるなど，興味を喚起しながら楽しんで取り組めるようにしてほしい。</li> </ul>
15	<p>変わり目はどこでしょう(2)            二マス以上の連続線の変り目を読み取る。            二マス以上で始点と終点，を変り目とする3行，で始点と終点の4行2組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行途中における変化の弁別のための教材である。</li> <li>・比較しやすい上下から行い，それを合わせたをもとに，最初と最後はやで明確にした。次に，の後に続けて示した。</li> <li>・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。</li> </ul>
16	<p>上と下のどちらでしょう(1)            二マス以上で始点と終点 との線 2行と3行            二マス以上で始点と終点 との線 3行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一マス横段（①④と②⑤と③⑥の点）の意識化教材である。</li> <li>・比較しやすい上下から行い，それを合わせたをもとに，最初と最後はやで明確にした。</li> <li>・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。</li> </ul>
17	<p>上 中 下のどれでしょう(1)            二マス以上で始点と終点 の線 2行と3行            二マス以上で始点と終点 の線 3行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一マス横段（①④と②⑤と③⑥の点）の意識化教材である。</li> <li>・比較しやすい上下から行い，それを合わせたをもとに，最初と最後はやで明確にした。</li> <li>・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。</li> </ul>
18	<p>上と下のどちらでしょう(2)            二マス以上で二マスを囲む3行            二マス以上で一マスを囲む2行            二マス以上で一マス2行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一マス横段（①④と②⑤と③⑥の点）の意識化教材である。</li> <li>・比較しやすい上下から行い，それを合わせたをもとに，最初と最後はやで明確にした。</li> <li>・両側のマスも含めて一マスの感覚（イメージ）を触知できるようにする。</li> </ul>



27	<p>違うものを探しましょう(1)</p>  で提示。  等の識別  で囲んで10行  の後に続けて4行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一マスの6点の弁別のための教材である。</li> <li>・で囲まれた、あるいはに続く四つから違うもの一つを見つける。</li> <li>・左右の逆転した形(鏡字)を意図的に盛り込んでいる。</li> <li>・両指で一つずつ触知しながら、ゲーム感覚で取り組めるとよい。</li> <li>・違うものを探す際に、「右のだよ、だって下に点がないよ。」「二つ目のだ」「左端のが違う」など、言葉を表出させながら探せるようにし、言葉も一緒に育てる意識をもって指導に当たってほしい。</li> </ul>
28	<p>違うものを探しましょう(2)</p>  で提示。  等の識別  で囲んで10行  の後に続けて4行	<p><b>*一マス6点を文字として認識する課題に入る前段階であるここまです、上下の行の干渉を避けるために行間9mmとしている。</b></p>
29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字の形と文字音を結び付ける最初の教材</li> <li>・読みやすさを考慮し、初めに音毎にマスあけした言葉を提示し、次にマスあけしない言葉を提示する。</li> <li>・新しい段階に進むことを意識づけるために、葉っぱの形(児童が実際に手で触れることのできる平面的な具体物)の枠で囲んでいる。</li> </ul>
30	<p>ア行とカ行の言葉</p>  で囲んで提示し、語例 あか あお いう いえ うえ うお えき おか おけ かお かき きく きかい くき くい けいこ こい こえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行の音と語例を示す教材である。</li> <li>・各音はで囲んで掲載。</li> <li>・清音の学習では、該当音から始まる二マスを中心とした身近な単語を選んで掲載。</li> <li>・五十音順の言葉集めで、五十音の仕組みと意識化を図る。</li> <li>・形と音は丁寧に結びつける。</li> </ul>
31	<p>サ行とタ行の言葉</p>  で囲んで提示し、語例 さい さか した しお すし すいか せき そと そこ たこ たて ちか ちち つち つき て てつ とし とけい	
32	<p>ナ行とハ行の言葉</p>  で囲んで提示し、語例 なす なつ にく にし ぬう ぬの ねこ ねつ のこす はな はこ ひと ひなた ふく ふね へい へそ ほね ほし	
33	<p>マ行とヤ行の言葉</p>  で囲んで提示し、語例 まえ まち みち みせ むし むね め めし もも もち やね やさい ゆめ ゆき よむ よこ	

34	ラ行とワ行の言葉 ■■■で囲んで提示し、語例 らいと らむね りす りか るす れつ れい ろく わに わたし めを さます てを あらう	
35	声に出して読みましょう（五十音表）	五十音表の学習
36	五十音表をたどりましょう 横に読んでみましょう あ い う え お か き く け こ  縦に読んでみましょう あ か さ た な は ま や ら わ  長く伸ばしてみましょう あー かー さー たー なー はー まー やー らー わー いー きー しー ちー にー ひー みー いー りー ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五十音の仕組みと意識化を図る。</li> <li>・形と音は丁寧に結びつける。</li> </ul>
37	つまる音 のぼす音 はねる音 ■■■で囲んで提示し、語例3語ずつ きって まっと らっこ くーき かれー のーと ほん きりん みかん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらは五十音ではないので、区別して指導する。</li> <li>・ここで五十音及び促音・撥音・長音の学習が終了。</li> </ul>
38	読んでみましょう （43語） あたま かお みみ はな め くち たいこ ふえ かすたねっと うた たいそー かけあし つなひき すいえい さかな にく やさい こめ くるま ひこーき ふね うみ すな そら くも こあら きつね たぬき らいおん まえ うしろ うえ した  おとーさん おかあさん おねえさん おにいさん おとーと いもーと  みなさん おはよー せんせい さよーなら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせて、文字を読む楽しみを味わえる教材を工夫する。</li> <li>・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、食べ物、乗り物、動物などを掲載。</li> </ul> <p>※2語文の提示。</p>
39	濁る音の言葉 がぎぐげご ざじずぜぞ だちづでど ばびぶべぼ ぱびぷべぱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行の音、語例を示す教材</li> <li>・各音は■■■で囲んで掲載。</li> <li>・3～4マスの身近な名詞を中心とした単語を選んで掲載。</li> </ul>

40	<p>ガ行とザ行の言葉</p> <p>⦿で囲んで提示し，語例2語ずつ</p> <p>がむ かがみ ぎたー かが ぐらす ながぐつ げーむ げんき ごま ごはん ざる かがり じかん ひつじ ずきん すず ぜんいん かぜ ぞーきん なぞなぞ</p>	<p>・「ヂ」「ヅ」はすべて2音目の語であるが，点字を初学の児童の負担に配慮し，正しい仮名遣いの習得をねらいとするものではない。</p>
41	<p>ダ行とバ行の言葉</p> <p>⦿で囲んで提示し，語例2語ずつ</p> <p>だんご くだもの ちちむ はなぢ つづき こづかい でんわ うで どあ のど ばす ばった びん ゆび ぶた ぶどー べんとー なべ ぼたん りぼん</p>	
42	<p>パ行の言葉</p> <p>⦿で囲んで提示し，語例2語ずつ</p> <p>ぱん らっぱ ぴあの てんぴつ ぷりん こつぶ ペっと ぺんぎん ぼすと たんぼぼ</p>	
43	<p>拗音 表</p> <p>きゃきゅきょ しゃしゅしょ ちやちゅちよ にやにゅによ ひやひゅひよ みやみゅみよ りやりゅりよ</p>	<p>・拗音，拗濁音，拗半濁音も語例を示しながら指導する。</p>
44	<p>拗音をつかう言葉(1)</p> <p>⦿で囲んで提示し，語例1～2語ずつ</p> <p>きゃらめる きゃべつ きゅーり きゅーきゅーしゃ きょーしつ とーきょー しゃつ でんしゃ しゅくだい うんてんしゅ しよくじ きょーかしよ ちやわん おもちや ちゅーしゃ ちゅーりつぶ ちよきん ちよこれーと にゃーにゃー こんにゃく にゅーす にゅーよーく によるによる</p>	<p>・児童にとって身近な身体・学習に関するもの，食べ物，乗り物，動物などを掲載しているが，墨字ではカタカナで書く外来語や擬音語も含まれている。ここでは，表音文字としての点字の音と形を結びつけることがねらいであるので，墨字で表記する際の文字の種類についてはとりあげて指導しなくてよい。</p>
45	<p>拗音をつかう言葉(2)</p> <p>⦿で囲んで提示し，語例1～2語ずつ</p> <p>ひやく ひゅーひゅー ひよーたん ひよーし みやく みゅーじゅく みよーじ りやくず りゅっく こーりゅー りよこー りよーて</p>	

46	拗濁音 拗半濁音の表	拗濁音 拗半濁音の表の学習
47	拗濁音を使う言葉 ⠠⠠で囲んで提示し、語例1～2語ずつ ぎやく ぎゅーにく ぎゅーにゅー ぎょーざ にんぎょー じゃんぐる じゃんけん じゅーす じゅぎょー じょーず てんじょー ゆのみぢゃわん びやくや びゅーびゅー びょーいん てびょーし	・児童にとって身近な身体・学習に関するもの、食べ物、乗り物、動物などを掲載しているが、墨字ではカタカナで書く外来語や擬音語も含まれている。ここでは、表音文字としての点字の音と形を結びつけることがねらいであるので、墨字で表記する際の文字の種類についてはとりあげて指導しなくてよい。
48	拗半濁音を使う言葉 ⠠⠠で囲んで提示し、語例1～2語ずつ びゅーま びょんびょん はっびょー	
49	数字の読み方 ⠠⠠⠠ 1ねんせい 1__い ⠠⠠⠠ 2ばん 2かい ⠠⠠⠠ 3くみ 3かくけい ⠠⠠⠠ 4がつ 4にん ⠠⠠⠠ 5びょー 5__えんだま ⠠⠠⠠ 6だい 6ぼん ⠠⠠⠠ 7じ 7だい ⠠⠠⠠ 8ひき 8さい ⠠⠠⠠ 9まい 9がつ ⠠⠠⠠⠠ 10さつ 10こ	・適切な助数詞を付けて示す。 ・第1つなぎ符が必要なもの、助数詞によって読み方が異なるものも掲載したが、点字の初学である児童の実態に配慮して活用されたい。
50	文を読んでみましょう(1) 文の区切りはてん(⠠) ) 文の終わりはまる(⠠) )  せんせい、おはよー ございます。 みなさん、おはよー ございます。 おひさま ぽかぽか、げんきに あるく。  ばななが すき。 かわわ すべすべ。 まがった かたち。 かわを むくと、 いい におい。 たべると あまい、おいしい ばなな。	・児童の生活経験に沿った内容の文例。 ・句点、読点の導入。 ・児童の感覚(触覚・聴覚・味覚・嗅覚)を活用させた文例とした。
51	文を読んでみましょう(2) いぬが、 いる。 なまえわ、 なにかな。 さわると、 けわ ふさふさ。 いぬが、 てを なめる。 ぺろぺろぺろ。 あったかいね。	

	<p>かぜが ふく。  まどを, がたがた。  どあを, ぎーぎー。  ほんを めくって, にげて いった。</p>	
52	<p>文を読んでみましょう(3)  はなし ことばにわ, かぎ 「・・・」を  つけます。</p> <p>あさの あいさつ, 「おはよー」。  ごはんの まえにわ, 「いただきます」。  ごはんの あとにわ, 「ごちそーさま」。  でかける ときにわ, 「いってきます」。  かえった ときにわ, 「ただいま」。  よるの あいさつ, 「おやすみなさい」。  ああ, ねむい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の生活経験に沿った内容の文例</li> <li>・第1かぎの導入。</li> </ul>
53	<p>声に出して何度も読みましょう(1)</p> <p>さといも じゃがいも さつまいも  だいこん にんじん れんこん いんげん  えだまめ そらまめ らっかせい  えのき しいたけ まつたけ しめじ  きゅうり きうい きゃべつ あぼかど</p> <p>めろん れもん みかん なつみかん  かき くり もも なし  いちご りんご ぶどー ばなな  ぱぱいや まんごー ぱいなっふる</p> <p>さば さけ さんま あじ いわし  かつお まぐろ ぶり さわら  わかめ こんぶ のり ひじき  いか えび たこ かに たべたいな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記、基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。</li> <li>・マ行など点の数が多い字、拗半濁音など読みにくい字、左右逆転した字（鏡字）, <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math> <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math> <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math>などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んである。</li> <li>・六つの点の確実な触読によって正確に読むことは大切であるが、声に出して読みながら、音やリズムを楽しめるように工夫した活用も期待する。</li> </ul>
54	<p>声に出して何度も読みましょう(2)</p> <p>いぬも あるけば ぼーに あたる  はなより だんご  ちりも つもれば やまと なる  2かいから めぐすり  わらう かどにわ ふく きたる  えんの したの ちからもち  ねこに こばん</p> <p>むかし むかし ある ところに, おじいさんと おばあさんが すんで おりました。おじいさんわ やまえ しばかりに, おばあさんわ かわえ せんたくに いきました。ある ひ, おばあさんが せんたくをして いると, むこーの ほーから おおきな ももが, どんぶらこ, どんぶらこ, とながれて きました。</p>	



<p>55</p>	<p>声に出して何度も読みましょう(3) うらにわにわ 2わ, にわにわ 2わ, にわとりが いる。</p> <p>なまむぎ なまごめ なまたまご あかまきがみ あおまきがみ きまきがみ となりの きゃくわ よく かき くうきや くだ かえる ぴよこぴよこ みびよこぴよこ あわせて ぴよこぴよこ むびよこぴよこ ぼーずが びよーぶに じよーずに ぼーず の えを かいた</p> <p>おどろき ももの き さんしょの き けっこー けだらけ ねこ はいだらけ おっと がってん しょーちのすけ なんか よーか ここのか とおか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記, 基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。</li> <li>・マ行など点の数が多し字, 拗半濁音など読みにくい字, 左右逆転した字(鏡字), <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math> <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math>などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んである。</li> <li>・六つの点の確実な触読によって正確に読むことは大切であるが, 声に出して読みながら, 音やリズムを楽しめるように工夫した活用も期待する。</li> </ul>
<p>56</p>	<p>声に出して何度も読みましょう(4) こがねむしわ, かねもちだ。 かねぐら たてた, くら たてた。 あめやで みずあめ かって きた。</p> <p>そそら そら そら うさぎの だんす たらった らった らった らった らった らったら あしで けり けり ぴよっこ ぴよっこ おどる みみに はちまき らった らった らったら</p> <p>せり なずな ごぎょー はこべら ほとけ のぞ すずな すずしろ はるの ななくさ</p>	
<p>57</p>	<p>声に出して何度も読みましょう(5) たこたこたこたこ わらったこねこ いかいかいかいか いってもいいかな いかいかいかいか てんじでかい</p> <p>まつまつまつまつ ばすをまつよ たけたけたけたけ あれわすれたつけ うめうめうめうめ うなどんうめえ</p> <p>あわあわ おふろで あわだらけ わくわく こころが はずんでる わいわい みんなで かけよう</p> <p>てんてんてんじは, みんなの ともだち!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遊びが好きな児童は多い。これらは指導者と一緒に言葉遊びを楽しみながら、点字の表記, 基本的な仮名遣い・分かち書きに慣れるための教材である。</li> <li>・マ行など点の数が多し字, 拗半濁音など読みにくい字, 左右逆転した字(鏡字), <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math> <math>\begin{smallmatrix} \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \\ \cdot &amp; \cdot &amp; \cdot \end{smallmatrix}</math>などの誤読しやすい字を意図的に入れ込んである。</li> <li>・六つの点の確実な触読によって正確に読むことは大切であるが, 声に出して読みながら, 音やリズムを楽しめるように工夫した活用も期待する。</li> <li>・「点字を学習する」ことから「点字で学習する」過程に向けて, 児童が楽しく確実に「自分の文字としての点字」を獲得できるよう期待する。</li> </ul>

58	<p>よく使われる特殊音 13種</p> <p>シエイク ポシェット</p> <p>ジェットキ</p> <p>チェンジ チェリー</p> <p>ティッシュ パーティー</p> <p>ビルディング</p> <p>モーツァルト</p> <p>コンツェルン</p> <p>カンツォーネ</p> <p>ファイト ファイル</p> <p>フィールド トロフィー</p> <p>パーフェクト フェンス</p> <p>フォーク</p> <p>デュエット フォンデュ</p>	<p>「よく使われる特殊音」として平成3年内閣告示『外来語の表記』及び日本点字表記法に掲載されている「国語化の程度の高い語」13種を掲載した。</p> <p>・具体例とともに指導するが、児童にとってなじみのない語例も少なくない。点字初学の児童それぞれの実態に鑑みて、活用されたい。</p>
----	---	--

## 資料2 点字の表記習熟のためのドリル

### ➤ 1-1 巻末

#### 点字練習1-1

読んで みよー, 書いて みよー  
おかあさん おばあさん  
おにいさん おじいさん  
おねえさん ええ ねえ  
おとーさん いもーと おとーと

#### 点字練習1-2

読んで みよー, 書いて みよー  
せんせい とけい いいえ  
おおきい おおかみ とおい こおり  
ふーせん おーさま すーじ ろーか  
はしろー はなそー たべよー

とおくの おおきな こおりの うえを,  
おおきな おおかみが とおった。

#### 点字練習1-3

読んで みよー, 書いて みよー  
きゃんぷ きゅーしょく きよーしつ  
でんしゃ しゅくだい ちよきんばこ  
じゃんけん きゅーにゅー にんぎよー びよーいん  
ぴっちゃー こんびゅーた はっぴよー

#### 点字練習1-4

読んで みよー, 書いて みよー  
せっけん がっこー  
らっぱ こっぷ しっぼ  
びすけっと あまがっぱ みずでっぽー  
がっかり うっかり こっそり びっくり  
よっと まっと らっこ がっき

### ➤ 1-2 巻末

#### 点字練習1-5

読んで みよー, 書いて みよー  
かなづち おこづかい みかづき  
ちぢむ つづく ちかづく かたづける  
ごはんぢやわん はなぢ そちぢから  
せかいじゅー じめん ちぢ いなづま  
ひとりずつ うなづく つまづく

#### 点字練習1-6

読んで みよー, 書いて みよー  
1ねん 20にん 7さい  
10びき 30ぶん 1けんや 14か  
1\_\_えん 5\_\_おくえん 3\_\_れんきゅー

1かい やすんで 5\_\_え すすむ。  
3ばんの こたえわ 20\_\_らしい  
あめが 2, 3にち ふりつづいた。  
りんごが ひとふくろに 5, 6こ はいって いる。

### 点字練習 1-7

読んで みよー, 書いて みよー  
じゅーじろ しこく きゅーしゅー よっかいち  
いちろー ごろー さんぺい  
しりつ 3ちゅー 2じょーどおり  
4じ 24か 4さつ

### 点字練習 1-8

読んで みよー, 書いて みよー  
ひとつ ついたち  
ふたつ ふつか  
みっつ みっか  
よっつ よっか  
いつつ いつか  
むっつ むいか  
ななつ なのか  
やっつ よーか  
ここのつ ここのか  
とお とおか

## ➤ 2-1 巻末

### 点字練習 2-1

読んで みよー, 書いて みよー  
みんなが して いる。  
みんなが してて いる。  
くまさんが いた。  
くまさんが いった。

### 点字練習 2-2

読んで みよー, 書いて みよー  
わたしわ 2ねんせいです。  
はなわ きれいです。  
えきえ おとーさんを むかえに いきます。  
へやの なかえ はいります。

### 点字練習 2-3

読んで みよー, 書いて みよー  
あきこ さん なかむら さま たなか どの  
さとー くん こいけ し  
おねえちゃん さかなやさん くまさん  
たぬきくん かえるちゃん おーじさま  
  
みさこ さんわ みさちゃんと よばれて いる。

➤ 2-2 巻末

点字練習 2-4

読んで みよー，書いて みよー  
まん 8さい まる 1にち ぜん 3かん  
しんはつめい だい3かん ぜんにほん  
ひとり ひとり ぽつり ぽつり  
のろのろ ばたばた びゅーびゅー

点字練習 2-5

読んで みよー，書いて みよー  
べんきょー する  
うんどー する  
すきっぷ する  
のろのろ する  
せつする あいする

ぎょーじを けいかく し， じっこー する。  
けいさん したり めも したり する。  
どうぶつを あいする きもち

点字練習 2-6

読んで みよー，書いて みよー  
ほんを よむ こと  
しょくじを する とき  
ぼくの きらいな もの

ふくを きた まま およぐ。  
ぼくの ほーが はやい。  
おさない ころの おもいで。

➤ 2-3 巻末

点字練習 2-7

読んで みよー，書いて みよー  
じしんが おきた。  
ゆのみちやわんが われた。  
はなしが つづく。  
みちで つまづいた。  
いなずまが ひかった。  
へやを かたづける。  
こづつみが とどく。

点字練習 2-8

読んで みよー，書いて みよー  
たのしい ことを いう。  
つまらない ことを いうなよ。  
こー いう ことか。  
そー いう ことわ せんせいに いえない。  
どーして しかられたか いう。

## 点字練習 2-9

読んで みよー，書いて みよー  
ウィルバー ウェルズ ジェンキンズ  
ラプンツェル スティーブ アーディゾーニ  
フォーク ボランティア テイッシュ

## ➤ 3-1 巻末

### 点字練習 3-1

読んで みよー，書いて みよー  
ある あきの ひの ことです。  
やまから つめたい かぜが ふいて きました。  
あめも ふりはじめました。  
こー いう ぼんわ そとに でたくわ ありません。  
でも どー しても でかけなくてわ なりません。  
ああ いやだと おもいました。

### 点字練習 3-2

読んで みよー，書いて みよー  
うちゅーわ どー なって いるのか しらべて みたい。  
おふろの ゆかげんを みて みる。  
ここに たいせつな ことが かいて ある。

そとわ ゆきが ふって いる。  
つくえの うえを きれいに かたづけて いる。  
ひまわりが きゅーに おおきく なる。  
ともだちが はしって くる。

## ➤ 3-2 巻末

### 点字練習 3-3

読んで みよー，書いて みよー  
この ほんわ，だんだん おもしろく なく なった。  
ねえさんの ほおが，あかく なった。  
いもーとの びよーきが，すこし よく なった。  
たいふーが とおりすぎると，かぜが なくなった。  
おじいちゃんが びよーきで なくなった。

### 点字練習 3-4

読んで みよー，書いて みよー  
その ことわ ぼくには かんけい ない。  
それわ ぜったいに まちがい ない。  
きみが おこるのも むり ない。  
きよーわ おくれないで がっこーえ いこー。  
ぼくわ もー まよわない。

➤ 3-3 巻末

点字練習 3-5

読んで みよー，書いて みよー  
ごめん ください。  
ありがとー ございます。  
やって いただく。  
おはなし なさる。  
ていねいに よみなさい。

点字練習 3-6

読んで みよー，書いて みよー  
かれ じしんが そー いった。  
からだ ぜんたいを つかう。  
「よー といあわせ」とわ， といあわせが ひつよーですと いう いみです。  
えいよー まんてんの しょくじを とる。  
うらしま たろーわ， たのしい おはなしです。  
ちよこれーと けーきが たべたく なった。

3-4 巻末

点字練習 3-7

読んで みよー，書いて みよー  
けん たいいくかんで しあいをおこなう。  
まくら かばーを せんたく する。  
こーつー じこが おきて いる。  
ひなまつりを おねえさんと いわう。  
みずさいばいを はじめて みよー。

点字練習 3-8

読んで みよー，書いて みよー  
かれわ， くるしそーな こえを だして いる。  
ふゆのよーに さむい ひが つづいて います。  
ねこみたいな なきごえが きこえて きた。  
よわねを はくなんて きみらしく ない。  
つよそーな ちーむめいを きめて ほしい。

➤ 4-1 巻末

点字練習 4-1

読んで みよー，書いて みよー  
にゅーがく しけん  
てれび どらま  
おんがく かんしょー  
やすみ じかん  
らじお たいそー

#### 点字練習 4-2

読んで みよー，書いて みよー  
きよろきよろ するな。  
なくなく あきらめる。  
ところどころ まちがって いるよ。  
やまみちを ふーふー いいながら のぼる。  
さむくて がたがた ふるえる。

#### ➤ 4-2 巻末

#### 点字練習 4-3

読んで みよー，書いて みよー  
むかし むかしの おはなしです。  
とおい とおい くにに， おとこのこが すんで いました。  
なきながら とぎれ とぎれに， はなしを しました。  
かいじゅーが のっし のっし あるいて いた ころです。  
ふたりわ わかれ わかれに なりました。

#### 点字練習 4-4

読んで みよー，書いて みよー  
かみのけを きる。  
おんなのこが うたう。  
そのひぐらしの せいかつ。  
てのひらに のせる。  
このはが ちる。

#### ➤ 4-3 巻末

#### 点字練習 4-5

読んで みよー，書いて みよー  
おばけ やしきが こわくて さけびつづけて いる。  
ろーかわ すべりにくく する ひつよーが あります。  
やきゅー たいかいが めのまえに ちかづいた。  
きゅーに なきはじめてので， ぼくわ びっくり した。  
きのーの できごとを， おもしろおかしく はなして いる。  
この めざましどけいわ つかいやすい。

#### 点字練習 4-6

読んで みよー，書いて みよー  
かぶしきがいしゃ かがみびらき すいしゃごや  
さつきよくしゃめい しょーちゅーがっこー  
とどーふけん しの一こーしょー  
しちよーそんちよー かいすいよくじよー



➤ 4-4 巻末

点字練習4-7

間違いを すべて さがして みよー

こづつみが きよー と一ちやくした。

(正：こづつみが きよー と一ちやく した。)

どうなつを たなかせんせいがおみあげに くださった。

(正：どーなつを たなか せんせいが おみやげに くださった。)

まいにち ごちそーを たべていた。

(正：まいにち ごちそーを たべて いた。)

お一どりの こうさてんを みぎへ まがると、 みかづきが みえて いた。

(正：おおどりの こーさてんを みぎえ まがると、 みかづきが みえて いた。)

さかなや さんで かいものを し、 こーりを 入れて もらった。

(正：さかなやさんで かいものを し、 こおりを 入れて もらった。)

点字練習4-8

間違いを すべて さがして みよー

くま さんが、 はしって きた。

(正：くまさんが、 はしって きた。)

ねずみ ちゃんわ、 「きゃー」と、 おおごえを だしています。

(正：ねずみちゃんわ、 「きゃー」と、 おおごえを だして います。)

そのあとから、 さんびきの すずめばちが あとを おってきました。

(正：その あとから、 3びきの すずめばちが あとを おって きました。)

どうぶつひろばわ、 おおさわぎになりました。

(正：どーぶつ ひろばわ、 おおさわぎに になりました。)

➤ 5-1 巻末

点字練習5-1

読んで みよー、 書いて みよー

A こーす CD ふれーやー

TV ばんぐみ びたみん C

NHK SOS JR UFO

B\_\_がた X\_\_せん A\_\_ぐみ

A4ばん 10cm 3LDK

点字練習5-2

読んで みよー、 書いて みよー

なつめ そーせき ちょ

ばぶろ ぴかそ が

よさの あきこ やく

たにかわ しゅんたろー さく

➤ 5-2 巻末

点字練習5-3

間違いを さがして みよー  
Eメールの アドレスを きーた。  
(正：E メール の アドレスを きいた。)  
Y じろわ, みとーしが わるい。  
(正：Y\_\_じろわ, みとおしが わるい。)  
ねん がっ びを, ここに きにゅーしてください。  
(正：ねんがっびを, ここに きにゅー して ください。)  
ここで どおぞ でんわして ください。  
(正：ここで どーぞ でんわ して ください。)

点字練習5-4

間違いを さがして みよー  
かわばた やすなりさく  
(正：かわばた やすなり さく)  
1ろーが ひつとを うった。  
(正：いちろーが ひつとを うった。)  
A\_\_こーすは, ひじょーに こーきゅーな しょくじです。  
(正：A こーすわ, ひじょーに こーきゅーな しょくじです。)  
やすみじかんに たいくかんで たつきゅーを やった。  
(正：やすみ じかんに たいいくかんで たつきゅーを やった。)  
しばらくして ははが もどってきた。  
(正：しばらく して ははが もどって きた。)

➤ 5-3 巻末

点字練習5-5

間違いを さがして みよー  
きのお おーさかから かえった。  
(正：きのー おおさかから かえった。)  
ともだちが おたんじょおかいに まねーて くれた。  
(正：ともだちが おたんじょーかいに まねいて くれた。)  
てづくり クッキーを もってきて くれた。  
(正：てづくり クッキーを もって きて くれた。)  
すこしづつ たべる よーに する。  
(正：すこしづつ たべるよーに する。)  
あのこは おなじ ぐらすの おんなの こです。  
(正：あの こわ おなじ ぐらすの おんなのこです。)

点字練習5-6

間違いを さがして みよー  
かれは どう して ないているの だろう。  
(正：かれわ どーして ないて いるのだろー。)  
かたづけもしないで その ままの じょーたい だった。  
(正：かたづけも しないで そのままの じょーたいだった。)  
ラーメンを いちにんまえ たのむ。  
(正：らーめんを 1にんまえ たのむ。)



### 資料3 大幅な差し替えを行った箇所

- ・2学年までは、点字表記に近い形であらわした。
- ・〔 〕で囲んだ資料の後の数字は学年、ハイフンの後は学年ごとの通し番号を表す。

#### 〔資料2-1〕「かん字のひろば1」（2年上P62）

1年生で ならった かん字 - つぎの ことばを つかって、 文を つくりましょー。  
文の 終わりにわ、 ●●を つけましょー。

1ねんせいで ならった かん字にわ ●●●●●が つけて あります。

(れい) しまから 見える 「ゆーひ」わ、 「あか」くて、 とても きれいです。

「ゆーひ」 「あか」い 「やま」 「た」んぼ 「おー」さま 「もり」 「むら」  
「がっこー」 「まち」 「くるま」 「はやし」 「かわ」 「かい」がら 「あお」い

#### 〔資料2-2〕「かたかなのひろば」（2年上P77）

どーぶつが スポーツを して います。 かたかなにわ ●●●●●が つけて あります。

犬が 「ゴール」を めざして はしって います。

うさぎが 「スキップ」し、 さるが 「ジャンプ」 して います。

ぶたが 「マット」で 前回りを して います。

くまと ねずみが 「バトン」を もって 「リレー」を して います。

ねこが 「ダンス」を しながら おーえん して います。

くまわ 「ドッジ ボール」を して あそんで います。

さるが 「サッカー コート」に います。

くまが 「プール」で およいで います。

ぶたわ 「シャワー」を あびて、 さるわ 「タオル」で 体を ふいて います。

#### 〔資料2-3〕「かん字のひろば2」（2年上P114）

1年生で ならった かん字 - つぎの ことばを つかって、 1しゅーかんの できごとを、 につきを  
かくよーに かきましょー。 1年生で ならった かん字にわ ●●●●●が つけて あります。

(れい)

「げつ」よー「び」わ、 「か」だんの 「くさ」とりを しました。 あつくて とても たいへんでした。

「げつ」よー「び」 「か」だん 「くさ」とり  
「か」よー「び」 かん「じ」 「ぶん」しょー  
「すい」よー「び」 「あめ」  
「もく」よー「び」 「みみ」 「くち」 「いと」でんわ  
「きん」よー「び」 「てんき」 「はや」おき  
「ど」よー「び」 「はなび」  
「にち」よー「び」 「むし」とり

#### 〔資料2-4〕「かん字のひろば3」（2年上P132）

1年生で ならった かん字 - つぎの ことばを つかって、 学校の よーすを かきましょー。  
●●●●や ●●●●を ただしく つかいましょー。 1年生で ならった かん字にわ ●●●●●が つけて  
あります。

(れい)

こーもんの ちかくで、 「一年生」が 友だちを まって います。

きょーしつ 「せんせい」 「て」 「ただ」しい  
ほけんしつ 「め」  
おんがくしつ 「くち」 「おと」 「た」つ  
「おお」きい 「ちゅー」くらい 「ちい」さい 「いし」  
「み」つける 「あか」い 「しろ」い 「はな」  
「いちねんせい」

#### [資料2-5] 「かたかなで書くことば」 (2年下 P51)

どーぶつが みせで しょくじを して います。 かたかなにわ ..・・・..が つけて あります。

どーぶつたちわ 「レストラン」に います。

きりんが 「チョコレート」と 「アイス クリーム」を たべて います。

「コアラ」が 「ケチャップ」が かかった 「オムレツ」を たべて います。

ぞーが 「メニュー」を みて います。

「テーブル」の うえに 「メロン」が あります。

「パンダ」の おかあさんわ 「コーヒー」を のんで います。

「パンダ」の こどもたちわ 「ケーキ」を 食べて います。

「ライオン」わ 「ナイフ」を もって います。「テーブル」の 上に 「サラダ」と 「ハンバーグ」が あります。

「エプロン」を つけた 「ゴリラ」が 「ミート ソース スパゲティ」を 食べて います。

#### [資料2-6] 「かん字の広場4」 (2年下 P54)

1年生で ならった かん字 - つぎの 数を あらわす ことばを つかって、 さんすーの もんだいをつくりましょー。 1ねんせいで ならった かん字にわ ..・・・..が つけて あります。

(れい)

「70..えん」の だいこんを 「1ぼん」 かいました。 「100..えんだま」を 出すと、 おつりわ いくらでしょーか。

「はな」や はちうえ 「9」はち

「はな」たば 「4」たば

べんとーや 「ひと」つ 「600..えん」 「せんえん」さつ

だいこん 「1ぼん」 「70..えん」 「100..えんだま」

ねこ 「5ひき」

「こ」ども 「8にん」

「いぬ」 「2」ひき

「こ」いぬ 「3」びき

#### [資料2-7] 「かん字の広場5」 (2年下 P82)

1年生でならったかん字 - つぎの ことばを つかって、 しゅごと じゅつごの つなかりに 気を つけて、 公園の よーすを かきましょー。 しゅごの あとにわ、 ・ を つけましょー。

1年生で ならった かん字にわ ..・・・..が つけて あります。

(れい)

「おとこ」の「こ」わ、 「たけ」うまの 「めいじん」です。

「あおぞら」 「き」の 「うえ」の ねこ  
「き」の 「した」の 「おとこ」の「こ」  
「ひだり」わ でぐち, 「みぎ」わ いけ。  
「おんな」の 「こ」 かけ「あし」  
とんねるの ゆーぐに 「はい」る 「で」る  
「やす」む 「ちから」もち  
おとーさんの うでに ぶらさがる 「こ」どもたち  
「たけ」うま 「めいじん」

### 〔資料3-1〕 「分ける・くらべる」 (3年上P9)

学校にいる生きもの

1. こうていにいる生きもの

ばった あり ちょう

2. 教室にいる生きもの

めだか はむすたー 空欄符号

まともりごとの名前 — こうていにいる生きもの 教室にいる生きもの  
ノートに書き出したものごと — ばった めだかなど

夏と冬の好きなおとこ

(あそび)

夏 — プール うみ むしとり

冬 — 雪あそび なわとび かるた

(たべもの)

夏 — すいか なす 夏みかん

冬 — りんご はくさい みかん

### 〔資料3-2〕 「国語辞典を使おう」 (3年上P32)

(国語辞典の例)

ふかい (見出し語)

ふか\_\_い (漢字での書き表し方)

1. 表面または入口から、底やおくまでの距離が長い。(例) 傷が深い。(対義語) 浅い
2. 程度が十分なところまで達している。(例) 深い知識。愛情が深い。(対義語) 浅い
3. 色がこい。(例) 深い青色。(対義語) 浅い

(注)

- (1) 言葉の意味 — いくつかの意味がのっていることもあります。
- (2) 言葉のつかい方 — (例) として、その言葉をつかったみじかい文がのっています。
- (3) 漢字での書きあらわし方 — その言葉を漢字でどう書き表すかがのっています。
- (4) 対義語 — 反対の意味の言葉がのっています。

〔資料3-3〕 「国語辞典を使おう」（3年上 P33）

「はやい」「ふかい」— 一文字目をくらべる。

「ふかい」「ふとい」— 一文字目が同じときには、二文字目をくらべる。

〔資料3-4〕 「漢字の広場1」（3年上 P35）

「漢字の広場 二年生で習った漢字1」

動物園の様子を書いたお話に出てきた言葉です。どんな動物がいますか。どんなものがありますか。2年生で習った漢字には「…」がつけてあります。

(れい) くじゃくが、きれいな「羽」を大きく「広」げています。

いりぐち — けんを 「売」る 「買」う 「門」

あざらし — 「少」ない

ぺんぎん — 「多」い

くじゃく — 「羽」 「広」げる

「馬」 — 2「頭」

きりん — 「首」 「長」い 「黄色」

さる — 「高」い 木 「強」い 「弱」い

「牛」 — 「鳴」く

えんない — まちあわせの 「時間」 「同」じ ふく 「売店」 1「万」円

〔資料3-5〕 「きちんと伝えるために」（3年上 P44）

これまでに、言いたいことがうまく伝わらなかったことはありませんか。

相手にきちんと伝えるために、落としてはいけないことは何かを考えましょう。

次の(例1)と(例2)の1~4の場面を読んで、あとのことを考えてみましょう。

(例1)

1

赤いワンピースを着た女の子が、白い犬を散歩させています。それをちあきさんとかおりさんが見ています。

ちあき「あっ、かわいい。」

2

(女の子と犬が見えなくなってから)

ちあき「かわいかったね。」

かおり「うん。わたしもほしくなっちゃった。」

3

ちあき「でも、かおりちゃんの家には、もう犬はいるでしょ。」

かおり「え？なんのこと？」

4

ちあき「さっきの犬のことじゃないの。」

かおり「わたしは、女の子がきていた洋服のことを言ってたんだよ。」

1. どうして、話が食い違ってしまったのでしょうか。
2. ちあきさんとかおりさんは、それぞれどのように言えばよかったですのでしょうか。

(例2)

1

ひろしさんが自分の部屋で宿題をしていると、台所の方からお母さんの声がしました。

「ひろし、ちょっとおいで。」

2

ひろしさんは、もう少しで宿題が終わりそうだと思いますながら、

「はあい、すぐいくよ。」

と答えました。

3

10分後、「おかあさん、何の用事かなあ。」と思いながら部屋を出ました。

4

台所に行くと、テーブルの上にお皿がありました。それを見たひろしさんはあせりました。

「あっ、アイスクリームがとけてる。」

3. ひろしさんとお母さんは、それぞれどのように言えばよかったですでしょうか。

### 〔資料3-6〕 「漢字の広場2」 (3年上P46)

たから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書きましょう。「そこで」「けれども」などを使ってみましょう。2年生で習った漢字には「・・・」がつけてあります。

(れい) まなぶくんは、たから物のある場所がかかれた「地図」を見つけました。そこで、ぼうけんに「行く」ことにしました。

「地図」 「家」 「行く」 1本「道」 「元」気 「方角」 「親友」 「会」う  
「太」い へび 「心細」い 立ち「止」まる 「谷」 「通」る 「弓矢」 天「才」  
「当」たる 「岩」 「戸」 「丸」い 「引」く 「光」る たから 「帰」る

### 〔資料3-7〕 「言葉で遊ぼう」 (3年上P49)

(1)の段落には、次のことが書かれています。

(問い) 「言葉遊びには、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような楽しさがあるのでしょうか。」

(2)の段落には、次のことが書かれています。

言葉遊びの名前 → 「しゃれ」

言葉遊びの楽しさ → 「しゃれには、言葉のもつ音と意味とを組み合わせるといふ楽しさがあるのです。」

1. (問い) に書かれていることをたしかめましょう。
2. それぞれの段落に書かれていることをたしかめながら、音読しましょう。
3. (3)(4)の段落で、(問い) の答えに当たる部分を抜き出してみましょう。
4. 知っている言葉遊びはありましたか。友だちと話しましょう。



〔資料3-8〕 「漢字の広場3」 (3年上 P64)

時を表す言葉を使って、日曜日の出来事と、家の人の今週の予定を書きましょう。2年生で習った漢字には、「...」がつけてあります。

(れい) 日「曜」日の「朝」は、おきるのがおそくなりました。

(日曜日の できごと)

日「曜」日 「朝」 「顔」  
「妹」 「室内」 人「形」  
「午前」 「外」 「何回」 とぶ  
「午後」 ともだちが「来」る 「半分」こ  
「父」 「母」 「肉」をきる  
「夜」 「思」いだす 日「記」

(今週の よてい)

「今週」 「弟」 「当番」 「毎」日  
「兄」 「小刀」 「作」る  
「姉」 テレビ「番組」 「楽」しみ  
「東京」 「行」く

〔資料3-9〕 「こそあど言葉を使いこなそう」 (3年上 P88)

こそあど言葉は、次のように使い分けられます。

- こ — 話し手に近い場合
- そ — 相手に近い場合
- あ — どちらからも遠い場合
- ど — はっきりしない場合

(こそあど言葉)

	こ	そ	あ	ど
事物	この	その	あの	どの
	これ	それ	あれ	どれ
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら	そちら	あちら	どちら
	こっち	そっち	あっち	とっち
様子	こんな	そんな	あんな	どんな
	こう	そう	ああ	どう

〔資料3-10〕 「引用するとき」 (3年上 P93)

(書き出して思い出す)

商店街

- スーパーマーケット
- パン屋さん
- 花屋さん → 大川さん

〔資料3-11〕 「山小屋で三日間すごすなら」 (3年上 P117)

(川で遊ぶ)

水中めがね ばけつ ぐんて

(めずらしい虫をさがす)

虫かご こん虫図鑑 むしめがね ぐんて

(星空のかんさつをする)

かい中電灯 ぼうえんきょう

〔資料3-12〕 「ポスターを読もう」 (3年上 P118)

(ポスターのれい)

いざ, 読書。 (キャッチ コピー)

2016 第7回読書週間-10月27日(木)~11月9日(水) (知らせたくないよう)

(ポスターの説明) 男の人, 女の人, 逆立ちしている人, あかちゃん, 着ぐるみを着ている人, よろいをつけている人, 動物など, みんなが本を読んでいる絵が描かれている。

〔資料3-13〕 「知りたいことの見つけ方, 調べ方」 (3年上 P134)

知りたいことの見つけ方, 調べ方

(決めよう)

1. 調べたいことを見つけよう

次の手順で調べたいことを見つけましょう。

(1) 大きなテーマを考える。

森川 「ちょうについてしらべたいな。」

(2) その中でも特に知りたいことを考える。

始めに大きなテーマを書き, 「の」に続くものを結びつけていきます。(例 ちょう「の」いる場所)

(つないで考える)

ちょう — しゅるい えさ 育ち方 いる場所 いる時期

〔資料3-14〕 「手紙の書き方」 (3年上 P136)

1. 前付け

(1) 相手の名前 (2) 日づけ (3) 自分の名前の順で書きます。

2. はじめのあいさつ

3. 本文

4. むすびのあいさつ

〔資料3-15〕 「手紙の書き方」 (3年上 P137)

(はがきや封書の宛名の書き方)

(ゆー 194-0001)

東京都町田市つくし野5丁目3-1山田マンション103

山下 洋一 様

(ゆー 194-0022)

東京都町田市森野6丁目4-1

森田 のりこ

〔資料3-16〕 「漢字の広場4」 (3年下 P40)

町の様子をせつめいする文を書きましょう。2年生で習った漢字には、「…」がつけてあります。

(れい) わたしの「家」は、町の「北」の方にあります。「近」所に、犬をかつている「家」があります。

「北」 「家」 「市場」 「活」気 「自」動車 「東」 「古」い 「寺」

「公園」 「線路」 「南」 「広場」 「走」る 「点数」 「交番」 「西」

「新」しい 「近」所 天文「台」

〔資料3-17〕 「食べ物のひみつを教えます」 (3年下 P52)

(整理のしかたのれい)

材料 「米」

(おいしく食べる工夫と食品)

その形のままたく → ごはん

むす → もち

こなにする → 白玉

〔資料3-18〕 「ことわざ・故事成語」 (3年下 P58)

(五十歩百歩)

せんじょうから逃げ出してきた兵隊が一人いました。

兵隊1 「急いでにげないと。」

そこへ、後ろから兵隊2も逃げてきました。

兵隊2 「百歩もにげて、弱虫だぞ。」

兵隊1 「あなただって、にげたことにかわりないじゃないか。」

兵隊2 「・・・。」

〔資料3-19〕 「漢字の広場5」 (3年下P64)

学校では、どんなことをしていますか。日記をつけるように書きましょう。2年生で習った漢字には「…」がつけてあります。

- (れい) 「理科」の時間に、かん「電池」を使って、じっけんをした。
- 「国語」―「聞」く 発「言」 「話」し「合」い
- 「社会」―「知」る 「新聞」 「考」える
- 「算数」―「計算」 「教」える 「答」える
- 「図画工作」―「絵」 「画用紙」 「切」る
- 「理科」―「回」路 かん「電池」
- 「黒」板 日「直」 「読書」

〔資料3-20〕 「漢字の広場6」 (3年下P94)

それぞれのきせつで、だれがどんなことをしたでしょう。修飾語を使って、まわりの様子もくわしく表してみましよう。2年生で習った漢字には「…」がつけてあります。

(れい) わたしは、「春」に、友だちと「野原」にピクニックに出かけました。空は、すっきりと「晴」れ、あたたかな「風」がふいていました。

- 「春」―「晴」れ 「鳥」 「風」 「野原」 「明」るい 「昼」ごはん 「食」べる
- 「夏」― しろい「雲」 「海」 「船」 「魚」 「体」そう 「麦茶」 「岩」
- 「秋」―「遠」い やま「里」 「汽」車 「歩」く 「米」
- 「冬」―「夜」空 「星」 「雪」 「毛」糸

〔資料3-21〕 「これがわたしのお気に入り」 (3年下P110)

(高山さんが書き出したれい)

-----

小物入れ  
 →花のもようをつけた→家の人にこうひょう→お姉ちゃんがほめてくれた、みんなで使っている  
 →ペットボトルにねん土をはった→上手にできた  
 →ねん土をこねるのをがんばった、絵の具のりょうに気をつけた→きれいな色にできた

-----

〔資料4-1〕 「分ける・くらべる」 (4年上P9)

-----

休み時間をよりよくすごすには  
 自分たちでできること ..:: あぶないので、ろう下を走らない。 他の学年の人とも遊んだほうがいい。  
 先生に相談すること ..:: ボールがもっとほしい。 体育館を使う学年を決めたほうがいい。

-----

まとまりごとの名前 ― 「自分たちでできること」 「先生に相談すること」  
 ノートやカードに書き出した考え ― 「あぶないので、ろう下を走らない。」 「ボールがもっとほしい。」など

〔資料4-2〕「分ける・くらべる」（4年上P9）下段

発表会で何をするか

げき

役わり 全員がさんかする。 それぞれちがう役をする。

じゅんぴ 台本を作る。 いしょう。

がっしょう

役わり 全員がさんかする。」 みんなでいっしょに歌う。

じゅんぴ 曲を決める。 えんそう者を決める。

・・・

くらべる物事 — 「げき」 「がっしょう」

どんな点をくらべるか — 「役わり」 「じゅんぴ」

〔資料4-3〕「漢字の組み立て」（4年上P32）

かんむり



くさかんむり

点図

「はな」び かい「か」

「な」のはな や「さい」

「くすり」ばこ りょう「やく」

うかんむり

点図

「いえ」じ 「か」てい

「やす」らか 「あん」ぜん

たけかんむり

点図

え「ふで」 もう「ひつ」

き「ばこ」 「はこ」にわ

あめかんむり

点図

あま「ぐも」 「うん」かい

「ゆき」ぐに しん「せつ」

※以下同様

あし

こころ

「わる」もの 「あく」じ

「い」み けつ「い」

「かん」ち よ「かん」

れんが（れっか） ひ「で」り 「しょう」めい

「あつ」い ゆ はつ「ねつ」

にょう

しんにょう（しんにゅう） 「とお」で 「えん」そく

「ちか」「みち」 「きん」じよ

「とお」り「みち」 「つう」がく

たれ

まだれ 「ふ」りつ きょうと「ふ」  
「ひろ」ば 「こう」だい  
「みせ」さき しょう「てん」

かまえ

くにかまえ 「と」しょ 「ず」めん  
こう「えん」 「えん」じ  
しま「ぐに」 がい「こく」  
もんがまえ うみ「びら」き 「かい」し  
「せき」しょ 「かん」けい  
「ま」ぢか き「かん」

#### 〔資料4-4〕 「聞き取りメモの工夫」 (4年上P42)

(竹中さんのメモ)

けいじ係

かつー 楽しいけいじ物。作ってはる。らいしゅう。好きなスポーツ。

ねー あさってまで。たかはしさん。スポーツ1。

「かつ」は活動, 「ね」はおねがいの略。

#### 〔資料4-5〕 「コラム 話し方や聞き方から伝わること」 (4年上P44)

1. 図書係がお願いをしています。聞く人の受け止め方がちがうのは、…。

図書係「図書係からのお願いです。…。」

聞く人1「それはよくないな。」

図書係「図書係からのお願いです。…。」

聞く人2「係の人がおこっている。」

2. 消防士が仕事の説明をしています。聞く人が手元ばかりを見ている場合と…。

話す人(消防士)「わたしたちの仕事は…。」

聞く人1「メモを取ることに集中しよう。」

聞く人2「話す人の方も見るようにしよう。」

P 4 5

1. 顔の向き

二人の友達に向かって話をしている人がいます。

友達1(話す人の方を向いて)「そう。それは、よかったね。」

友達2(本に顔を向けたままで)「そう。それは、よかったね。」

2. 間のとり方

話す人(荷物を運ぶときに)「一緒に運んでもらえるかな。」

友達1(間を置かず)「いいよ。」

友達2(間を置いて)「いいよ。」

### 3. 話す速さ

みんなの前で話をしている人がいます。

話す人（早口で）「あすの持ち物は、…。」

話す人（ゆっくりと）「あすの持ち物は、…。」

#### 〔資料4－6〕「漢字の広場(1) 3年生で習った漢字」（4年上P46）

次の言葉を使って、この街の住人になったつもりで、町やまわりの様子を紹介する文章を書きましょう。3年生で習った漢字には、「 」をつけています。

（例）

わたしの家は「農家」です。春には、「畑」にたくさんの野菜を「植」えます。

「島」 「港」 お「宮」 「坂」道 「鉄橋」 「宿」 「放送局」  
中「央」 「駅」 「県」立 図書「館」 地「区」センター 「申」しこみ 「役所」  
「都」ごう 「曲」がり道 「農」家 「畑」 「羊」 「温」室 「植」える  
「湖」 「銀」行 「医」者 「病院」 「薬」局 「商」店 店「主」  
「安」売り 行「列」

#### 〔資料4－7〕「漢字の広場(2) 3年生で習った漢字」（4年上P66）

次の言葉を使って、それぞれの人になったつもりで、夏の楽しみを文章に書きましょう。主語と述語のつながりや、句読点に気を付けて、読み直しましょう。3年生で習った漢字には、「 」をつけています。

（例）

わたしは、夏休みに、家「族」で九「州」へ「旅」行に行きます。

「泳」ぐ 「練習」 「暑」い 太「陽」 「波」 「息」つぎ  
夏「祭」り かき「氷」 「有」名人 まとあて 「命」中  
家「族」 「持」つ 「荷物」 出「発」 「速」い 「旅」行 「予定」 九「州」  
「鉄板」 「油」 「配」る 「炭」 「平等」 「注」ぐ 「全部」 「味」わう  
「自由研究」 「豆」 「調」べる 「温度」 「緑」色 「葉」 「根」

#### 〔資料4－8〕「事実にもとづいて書かれた本を読もう」（4年上P105）

（例）

「いっぼんの鉛筆の向こうに」（谷川俊太郎 文）

鉛筆がどのように作られるか知っていますか。一つのものができるまでに多くの人が関わっていることが分かります。（ポップ）

「バーナムの骨」（トレイシー E ファーン 文・片岡しのぶ 訳）

鼻がひくひく。ティラノサウルス発見。化石を見つける天才。バーナム ブラウンの一生。（帯）

〔資料4-9〕 「漢字の広場(3) 3年生で習った漢字」 (4年上 P126) 」

次の言葉を使って、場面や出来事を考えながら、二つの昔話を完成させましょう。「そして」「しかし」など、つなぎ言葉を使ってみましょう。3年生で習った漢字には、「 」をつけています。

(例)

おじいさんは、「急」いでおにぎりを「追」いかけました。しかし、おにぎりはどんどん「転」がっていきます。

おむすびころりん

むかしばなしの「始」まり

おじいさんがおにぎりを「落」とす

おにぎりが「転」がる

おじいさんがおにぎりを「追」う

おじいさんが「急」ぐ 「進」む

あなが「暗」い 「深」い

おじいさんが「飲」む 「酒」 「皿」

ねずみがお「礼」をする

うちでのこづち 「幸福」

「終」わり

うらしまたろう

むかしばなしの「始」まり

こどもたちが海「岸」でかめをいじめる

「悪」いこどもたち かめは「悲」しい

うらしまたろうがかめを「助」ける

こどもたちが「去」る

かめに「乗」る

りゅうぐうじょうに「向」かう

りゅうぐうじょうに「着」く

「美」しいおとひめさま

玉手「箱」を「受」け「取」る

玉手「箱」を「開」ける

「終」わり

〔資料4-10〕 「クラスみんなで決めるには」 (4年下 P40)

(記録係が整理した例)

「何をするか」 「時間がかからないか」

「心がこもっているか」の順に書きます。

1. かんしゃじょうをわたす

時間 —— かからない

心 —— 全員が感謝の気持ちをひと言ずつ書く。



2. さつまいもを食べる

時間 —— かからない

心 —— 協力して育てた物だから、心がこもっている。

3. いっしょに遊ぶ

時間 —— かからない

心 —— 楽しいけれど、感謝の気持ちは伝わらない。

4. プレゼントを作る

時間 —— ややかかる

心 —— 一人一人が作る。

5. 歌を歌う

時間 —— かからない

心 —— 心を込めて歌う。

心 —— 一生懸命練習する。

#### 〔資料4-11〕「漢字の広場(4) 3年生で習った漢字」(4年下P42)

次の言葉を使って、ある日の学校の様子を書いてみましょう。

どこでどんなことが行われていますか。想像したことも加えて、文章に書きましょう。3年生で習った漢字には「 」をつけています。

(例)

図書館で、女の子が、「童」話と「神」話の本をさがしています。

図書館 「世界」地図 「神」話 「童」話 図書「委員」 「使」う 「返」す

教室 「起」立 「指」名する 「面」積 「倍」 「横」 「問題」

保健室 「鼻血」「歯」がいたい

資料室 「昔」「遊」び 竹とんぼ 「昭和」 「感想」 「実物」

体「育館」 やねの上で「仕事」

花だん じょうろが「重」い 「軽」い 「係」「相談」

運動場 「次」「笛」 校「庭」を走る 「秒」

#### 〔資料4-12〕「伝統工芸のよさを伝えよう」(4年下P54)

(よさについてまとめた例)

(博多織の魅力)

れきし —— 約780年続く けんじょう品

つかいやすさ —— 着物の帯 ゆるみにくい ほどきにくい じょうぶ

美しさ —— きかがくもよう 先に模様を決め、そめる

☆みりょくは、「使いやすさ」と「美しさ」

〔資料4-13〕 「漢字の広場(5) 3年生で習った漢字」 (4年下P62)

休日の様子です。次の言葉を使って、どこで、どんな人が、どんなことをしているのかを書きましょう。3年生で習った漢字には「 」をつけています。

(例)

二「階」では、お兄さんが、「漢」字の「勉」強をしています。

(車「庫」) 「屋根」のついた車「庫」

(一「階」) 「柱」 妹 おじいさん 「身」長をはかる

(二「階」) 「両」親 お母さん お「湯」 「消」す お父さん りんごの「皮」むき

二「階」 おばあさん 「洋服」 「整」理 お兄さん 「勉」強 「漢」字

道「路」 お「客」様 手「帳」 「住」所 1「丁」目 「信号」男の人と女の人 「待」つ

(公園) 「遊」具 女の人 「写」真 男の人 「美」化 ごみを「拾」う 男の子

「短」いズボン 「寒」い ねこが木に「登」る

〔資料4-14〕 「漢字の広場(6) 3年生で習った漢字」 (4年下P86)

次の言葉を使いながら、1年間の出来事を、学級新聞の記事にしましょう。3年生で習った漢字には「 」をつけています。

(例)

新学「期」になり、4年生に「進級」した。「始業式」では、校長先生のお話をしっかり聞いた。

新学「期」 「進級」 「始業式」

「第」5回書き初めコンクール 山田「君」 「代表」 作「品」 毛「筆」

「運動」会 「勝」つ 必「死」 「苦」しい 「負」ける

文「集」 「詩」 文「章」

学「級」会 「決定」 「反対」 「意」見

「打」つ 「球」 「投」げる 「守」る 「他」校生 交「流」

〔資料4-15〕 「調べて話そう、生活調査隊」 (4年下P114)

(資料の例)

放課後をどこで過ごしているか

「室内」

自分や友達の家 13人

学校の教室 8人

「屋外」

学校の校庭 6人

公園や広場 2人

〔資料5－1〕「つなげる・広げる」（5年 P11）

（つなげる）  
中心となる事から  
→1段階くわしくしたもの（観点）→2段階くわしくしたもの（具体）

（考えをつなげる例）

保健委員会の活動  
→クラスに関わる事→毎日の出欠確認  
→学校全体に関わる事→手あらいや、うがいのよびかけ。きけんな場所の調査、  
ポスター作成。給食室前の、栄養素についてのけいじ。

松田「今年の…。」

（広げる）  
白石「ちいきのことを…。」

（考えを広げる例）

交流している〇〇小学校のみんなに、地域のよさを伝える  
→行事→ライラックまつり、雪まつり  
→人物→クラーク博士  
→自然の景色→豊平峡  
→産業  
→食べ物  
→施設・名所→時計台→札幌のシンボル、1881年につくられた

〔資料5－2〕「図書館を使いこなそう」（5年 P32）

本は友達

図書館を使いこなそう

多くの図書館では、日本十進分類表によって…見つけられます。

（日本十進分類法）

- 0類－調べるための本（百科事典など）
- 1類－ものの考え方や心についての本
- 2類－昔のことや地域の本
- 3類－社会の仕組みの本
- 4類－自然に関わる本
- 5類－技術や機械の本
- 6類－いろいろな仕事の本
- 7類－芸術やスポーツの本
- 8類－言葉の本
- 9類－文学の本

菊池「春休みに、乗馬体験をしたんだ。馬について、もっと知りたくなった。『自然に関わる本』のたなで、馬のことが分かる本を見つけた。他のたなにもあるのかな。」

(4類「自然に関わる本」の分類)

- 40－自然科学
- 41－数学
- 42－物理学
- 43－化学
- 44－宇宙科学
- 45－地球科学
- 46－生物学
- 47－植物学
- 48－動物学
- 49－医学

(テーマ・キーワードの例－馬)

- 4類の48－動物学の本 「ウマ大図鑑」 (日本ウマ科学会)
- 6類－馬に関わる仕事の本 「生き物を育成する仕事」 (ヴィットインターナショナル企画室)
- 7類－馬術についての本 「絵でわかる馬の本」 (E. ボーモン, M. R. ピモン他)
- 9類－馬の登場する物語 「馬と少年」 (C. S. ルイス作, 瀬田貞二訳)

菊池 「一つのキーワードでも、複数のたなを見ると、本選びのはばが広がるんだね。」

[資料5-3] 「漢字の成り立ち」 (5年 P34~35)

(P34下段から、次のように修正。「草」を点線文字で示す。)

漢字の成り立ちには、大きく分けて、次の四つのものがあります。

1. 目に見える物の形を具体的にえがいたもの。  
(漢字の例) 馬・山・門・火・手  
馬 (象形文字) → 馬 (点線文字)
2. 目に見えない事柄を、印や記号を使って表したもの。  
(漢字の例) 上・下・漢数字の3  
丄 (象形文字) → 上 (点線文字)
3. 漢字の意味を組み合わせたもの  
(漢字の例) 鳴く・信じる・林  
「とり」と「くち」 → 「な\_\_く」
4. 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。

(漢字の例) 草・持つ  
意味を表す部分  
(草冠を点線文字)

	}	「くさ そう」
音を表す部分		草 (点線文字)

早 (点線文字)

[資料5-4] 「漢字の広場 4年生で習った漢字1」 (5年 P44)

漢字の広場 (1)

4年生で習った漢字－図書館の人になったつもりで、本の場所や図書館の使い方などについて説明してみよう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例) 本は、分「類」して配「置」されています。

公「共」 「案」内図 「便利」  
「季節」 「最」新 百科事「典」 分「類」 配「置」 「戦争」 「伝」記

「参」考書 「英」語 「辞」書  
「児」童書 区「別」  
「司」書 「要望」 「借」りる 5さつ「以」内 「順」番 「説」明 「極」力 「静」か 「席」にすわ  
る

〔資料5-5〕「言葉の意味が分かること」（5年 P52）

（表） 「持つ」動作を表す言葉

日本語	韓国語	中国語
かつぐ	トゥルダ	カン
かかげる	トゥルダ	ジュ
のせる（手に）	トゥルダ	トゥオ
のせる（頭に）	イダ	デイン
持つ（つかんで）	トゥルダ	ナ
持つ（手にさげて）	トゥルダ	リン
持つ（両手で）	トゥルダ	デュアン
持つ（手にかけて）	トゥルダ	ティ
持つ（かかえ て）	トゥルダ	ペン
かかえる（脇に）	キダ	ジア
かかえる（抱いて）	アンタ	パオ
かける（肩に）	メダ	クァ
せおう	メダ	ペイ

〔資料5-6〕「同じ読み方の漢字」（5年 P78～79）

1. 次の「 」をつけた言葉は、同じ読み方でもそれぞれ違う漢字を使います。

- (1) 「熱い」お茶
- (2) 「暑い」夏
- (3) 「厚い」辞書

(1)～(3)は、いずれも・・・どんな漢字を・・・。

2. 次の文の「 」をつけた言葉は、同じ読み方でも違う漢字を使います。

- (1) さす  
時計のはりが十二時を「さす」。  
武士がこしに刀を「さす」。
- (2) つく  
景色のよい場所に「つく」。  
くつにどろが「つく」。
- (3) はかる  
校舎から正門までのきよりを「はかる」。  
往復にかかる時間を「はかる」。  
肥料の入ったふくろの重さを「はかる」。

3. 同じ訓の漢字を…。

4. 次の文の「 」をつけた言葉は、同じ読み方でもそれぞれ違う漢字を使います。

- (1) 公「園」で、人形げきの公「演」を見た。
- (2) 一週「間」前に発売された週「刊」誌。

漢字には(1)の「エン」、(2)の「カン」のように、同じ…。

5. 次の文を読んで、同じ読み方をする部分を抜き出し、…。

〔資料5-7〕「漢字の広場 4年生で習った漢字2」(5年 P123)

漢字の広場(2)

4年生で習った漢字一作家になったつもりで、登山家の半生を文章に書きましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例)

登山家の「氏」名は、高山のぼるといい、〇〇県〇〇「郡」に生まれた。

「氏」名 〇〇「郡」 「卒」業 「働」く 「初」めて 週「末」 「参加」 自「然」 「包」まれる 「熱」中 「続」ける 目「標」 「節約」 悪天「候」 「散」々 「失敗」 「残念」 反「省」する 「特訓」 「必」死 「努」力 「仲」間 「結」束 「冷」たい雨 「茨」の道 「不」安 苦「労」 「信念」 「勇」気 「良好」 「希望」 「副」隊長 「成」功 「旗」 「無」事 悲「願」 「達」する 「笑」う 「輪」 「祝賀」会

〔資料5-8〕「よりよい学校生活のために」(5年 P132)

(下図一「ふせんを使って話し合いを整理する例」を、次のように修正。)

(紙に書き出して話し合いを整理する例)

(整理する項目)

- ア. 全校で取り組むこと
- イ. 5年生が取り組むこと
- ウ. 一人一人の心がけ
- エ. 当番や係を決める方法

(意見)

1. 美化委員会でよびかけてもらい、みんなでごみを拾うようにする。(美化委員会がすぐに取り組めない。)ーア・ウ
2. わたしたち一人一人が、気づいたときにごみを拾えばいい。ーイ・ウ
3. そうじ当番がそっせんしてごみを拾う。ーイ・エ
4. 階段とわたりろう下の美化係を決め、係活動として取り組む。ーウ・エ

〔資料5-9〕「漢字の広場 4年生で習った漢字3」(5年 P136)

漢字の広場(3)

4年生で習った漢字一各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように、文章を書きましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例)

日本「各」地の「産」業について学習した。

日本「各」地 都道「府」県 「産」業 「漁」業  
「億」 「兆」 「単」位 半「徑」 面「積」 「底」辺 「例」題  
「試」験管 「加」熱 計「量」 「固」体 「変」化 「結」果 「観」察 方「法」 「種」 「芽」  
「給」食 「栄」養 「富」む 「健」康 ご「飯」 「焼」き魚 「塩」分  
合「唱」 楽「器」 「覚」える 学「芸」会  
号「令」 記「録」 1「周」する

〔資料5-10〕 「固有種が教えてくれること」 (5年 P138)

(資料\_1 日本とイギリスの陸生ほ乳類)

(比べる点)

- (1) 国土面積 (k m<sup>2</sup>)
- (2) 陸生ほ乳類の種の数 (うち固有種)
- (3) 1万k m<sup>2</sup>あたりの種の数 (うち固有種)

	(1)	(2)	(3)
日本	約 37.8 万	107	2.83
イギリス	約 24.3 万	42	1.73
		(48)	(1.27)
		(0)	(0)

(国立科学博物館資料より)

(資料\_2 地質時代の区分)

鮮新世—約 533 万 3 千年前～約 258 万年前  
 更新世前期—約 258 万年前～約 78 万 1 千年前  
 更新世中期—約 78 万 1 千年前～約 12 万 6 千年前  
 更新世後期—約 12 万 6 千年前～約 1 万 2 千年前  
 完新世—約 1 万 2 千年前～現代

(国立科学博物館資料より)

〔資料5-11〕 「統計資料の読み方」 (5年 P148)

表\_1 日本の図書館数と蔵書数

年	図書館数	蔵書数 (千冊)
2006	3,082	356,710
2007	3,111	356,713
2008	3,126	374,729
2009	3,164	386,000
2010	3,188	393,292
2011	3,210	400,119
2012	3,234	410,224
2013	3,248	417,547
2014	3,246	423,828
2015	3,261	430,993
2016	3,280	439,961

(「図書館年鑑 2017」図書館協会より)

グラフ\_1 本の貸出冊数

1月	●●●●●●●●	500冊
2月	●●●●●●●●	520冊
3月	●●●●●●●●	530冊





〔資料5-13〕「古典芸能の世界―語りで伝える」（5年 P154）

（落語の仕草）

そばを食べる―片手で丼を持ち上げるようにし、もう一方の手で閉じた扇子を箸に見立てて食べる仕草をする。

いもを食べる―畳んだ手ぬぐいをいもに見立てて両手で持ち、口をほくほくさせながら食べる仕草をする。

飲む―両手で湯飲みなどを持っているかのようにして飲む仕草をする。

手紙を読む―開いた扇子の端と端を顔の正面で持ち、手紙に見立てて読む仕草をする。

書く―四角に畳んだ手ぬぐいを紙に見立てて片手で持ち、閉じた扇子をもう一方の手で持ち、筆に見立てて書く仕草をする。

暑い―片手で着物の襟元をつまみ、もう一方の手で扇子をあおいで首元に風を送り込む仕草をする。

寒い―着物の上に着ている羽織の袖で隠した両手を胸元で合わせ、ふるえる仕草をする。

戸をたたく―片手を振り上げて戸をたたく仕草をしながら、もう一方の手に持った閉じた扇子で床をたたいて音を出す。

〔資料5-14〕「漢字の広場 4年生で習った漢字4」（5年 P160）

漢字の広場（4）

4年生で習った漢字―都道府県ごとに文章を考えて書き、都道府県すごろくを完成させましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

（例）

「宮城」県で七夕のお祭りをゆっくり見物する。1回休み。

ふりだし→北海道→青森県→岩手県→宮「城」県→秋田県→山形県→福島県→「茨城」県→「栃」木県→「群」馬県→「埼」玉県→千葉県→東京都→神「奈」川県→「新潟」県→「富」山県→石川県→福「井」県→山「梨」県→長野県→「岐阜」県→「静岡」県→「愛」知県→三重県→「滋賀」県→京都「府」→大「阪府」→「兵」庫県→「奈良」県→和歌山県→鳥取県→島根県→「岡」山県→広島県→山口県→「徳」島県→「香」川県→「愛媛」県→高知県→福「岡」県→「佐賀」県→長「崎」県→「熊」本県→大分県→宮「崎」県→「鹿児」島県→「沖縄」県→あがり

〔資料5-15〕「方言と共通語」（5年 P184）

（方言分布図）

塩味の足りない汁の味を、

どう表現するか。

（図は省略）

「あまい」「あまか」など―北海道、東北地方、関東甲信越地方の一部、東海・北陸地方の一部、近畿地方の一部、中国地方、四国地方の瀬戸内海側、九州、沖縄県

「うすい」「うすか」など―北海道の一部、宮城県の一部、関東甲信越地方の一部、東海・北陸地方の一部、近畿地方の一部、四国地方の太平洋側、九州の一部、沖縄県

「みずくさい」「みずくさか」など―近畿地方、岐阜県の一部、福井県の一部、中国・四国地方瀬戸内海側の一部、九州の一部

「しょーむない」など―北海道、北陸地方

（国立国語研究所「日本語地図」第38図を簡単にしたもの）

〔資料5-16〕「漢字の広場 4年生で習った漢字5」（5年 P186）

漢字の広場（5）

4年生で習った漢字―駅からおばあちゃんの家までは、どのような道順で行けるでしょうか。案内する文を書きましょう。「まず」「それから」などのつなぎ言葉を使って、案内する文を書きましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例)

「改札」を出たら、まず、百「貨」店の先の交「差」点を右「折」してください。

「改札」 「徒」歩 百「貨」店 交「差」点 「陸」上「競」技場 「博」物館 右「折」 「印刷」所 木「材」  
「倉」庫 「衣料」品店 「建」物 「低」い 「民」家 両「側」 「松」の木 野「菜」畑 「街灯」 「清」  
流 「浅」い 「牧」場 「付」近 目「的」地

〔資料5-17〕「提案しよう、言葉とわたしたち」(5年 P214)

(資料\_1)

提案

いつでも、  
心をこめて、  
ありがとう

(資料\_3)

「仕事で言われてうれしい言葉」

男性(556人)

- |    |            |         |
|----|------------|---------|
| 1位 | ありがとう      | (34.0%) |
| 2位 | おつかれさま     | (16.4%) |
| 3位 | あなたにしかできない | (13.3%) |

女性(444人)

- |    |            |         |
|----|------------|---------|
| 1位 | ありがとう      | (43.2%) |
| 2位 | よくやった      | (15.1%) |
| 3位 | あなたにしかできない | (14.4%) |

(〇〇協会)

〔資料5-18〕「漢字の広場 4年生で習った漢字」(5年 P218)

漢字の広場(6)

4年生で習った漢字—新聞記者になって、出来事を報道する文章を書きましょう。「いつ」「どこで」「だれが(なにが)」など、必要な事がらを考えましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例)

今日の午後、駅前で総理大「臣」が公「害」について語った。

「選挙」 投「票」 国会「議」員 公「害」 「課」題 「求」める 大「臣」  
「未」来 自「然」 「関」心 「巢」箱 「軍」手  
「機械」 「完成」 「照」明 「浴」びる 「泣」く  
「城」を築く 「鹿」の群れ  
絶「景」 「満」開 「梅」 「老」人 「孫」 日光「浴」  
けんび「鏡」 消化「器官」 「治」す 「夫」 「協」力  
「昨」夜 「飛」行「機」 「欠」便

〔資料5-19〕「考えを図で表そう」（5年 P248～249）

1. 考えをつなぐ、広げる

テーマを表す言葉を書き、そこから考えや物事をつないだり、ひろげたりしていく。  
考えや…。

（小学校のよいところ）

〇〇小学校

- 緑が多い→大きな桜
- 行事→運動会、かるた大会
- 縦割り班→グループ給食
- 給食→グループ給食、おいしい→地元の野菜

2. 分類する

似ている事がらどうしを…。  
たくさんの事がらを…。

（学校図書館への要望）

(1) 本について

昔話が少ない  
紙芝居も置いてほしい  
破れている本がある

(2) 設備について

いすを増やしてほしい  
低学年には、本だなが高い

(3) 利用について

借り方の説明があるとよい  
午後5時まで開けてほしい  
さわがしいときがある

3. 順序を確かめる

時間や事がらの順序にそって物事を書き出す。二つに…。  
進め方を…。

（学級新聞を作る手順）

1. 内容を決める
2. 記事の担当を決める
3. 本で調べる、人にきく
4. 記事を書く
5. わりつけを考える
6. 清書する

4. 同じ点とことなる点で比べる

物事をどのような観点で比べたいか、はっきりと観点を挙げてから内容を書く。  
物事を…。

（新聞とテレビの同じ点・ことなる点）

- (1) 共通の特徴  
多くの人に伝わる  
編集されている

- (2) 新聞の特徴  
文字と写真  
切りぬきができる
- (3) テレビの特徴  
音声と映像  
すぐに伝わる

### 5. 観点を挙げて比べる

物事をどのような観点で比べたいか、はっきりと観点を挙げてから内容を書く。  
物事を、観点別に見ることができる。

(植物の成長と日光)

(調べた観点)

- 葉の数
- 葉の大きさ
- 葉の色
- くきの大きさ
- くきの長さ
- くきの色

(育て方)

- 当てる－日光に当てる
- 当てない－日光に当てない

観点	当てる	あてない
葉の数	8枚	5枚
葉の大きさ	大きい	小さい
葉の色	緑色	黄色っぽい
くきの大きさ	太い	細い
くきの長さ	23cm	12cm
くきの色	緑色	黄色っぽい

### 〔資料5-20〕「点字と手話」(5年 P252)

指文字のあいうえお

- ※右手の手のひらを前にいる人に見せる状態から。
- あ－親指だけのぼして他の4本の指はぐーの形。
- い－小指だけ伸ばして他の4本の指はぐーの形。
- う－人差し指と中指を立てて揃える。
- え－ぐーの形から指を曲げたまま手のひらを見せた形。
- お－5本の指でまるを作って親指側を自分に向けた形。
- か－親指・人差し指・中指を伸ばして親指を中指の腹にそえる。
- き－人差し指と小指を立て、親指と中指・薬指をつけて前に出した形。
- く－5本の指を伸ばし、親指を上手のひらを自分の方に向けた形。
- け－人差し指から小指までを伸ばし、親指を手のひらにつけた形。
- こ－5本の指をつけたままで、親指以外の4本の指の先を相手に向けた形。
- さ－ぐーの形。
- し－親指・人差し指・中指を伸ばし、親指を上手のひらを自分の方に向けた形。
- す－「す」をそのまま下に向けた形。
- せ－背が高い指＝中指を立てる。
- そ－人差し指を伸ばし、斜め下に指差す仕草をする。

たー「あ」をそのまま親指を上に向けた形。  
 ちー親指に小指以外の3本の指を付ける。  
 つー親指・人差し指・中指を付ける。  
 てー手のひらを相手に見せる。  
 とー人差し指と中指を揃えて立て、手の甲を相手に見せた形。  
 なーちょきを下に向けた形。  
 にー「な」をそのまま横に向ける。  
 めーぐーの形から人差し指を伸ばし、指先を曲げた形。  
 ねー手の甲を見せるように下向きにパーの形をし、斜め前を出す。  
 のー人差し指を立て、自分から見てカタカナの「の」を書く。  
 はーちょきを右へ90度倒した形。  
 ひー人差し指を立てる。  
 ふーぐーの形から親指と人差し指を間が直角になるように伸ばし、下に向けた形。  
 へーぐーから親指と小指を立てて下に向けた形。  
 ほー5本の指を揃えてやや丸みを付けて伸ばし、手のひらを自分の方に向けた形。  
 まーぐーから人差し指・中指・薬指を開いて伸ばし、下に向けた形。  
 みー「ま」をそのまま横に向けた形。  
 むーぐーから親指と人差し指を伸ばし、親指を上にして手のひらを自分に向けた形。  
 めーぐーから親指と人差し指を付けて、輪を作る。  
 もーぐーから親指と人差し指を上に向けて伸ばした形をした後、親指と人差し指の指先を付ける。  
 やーぐーから親指と小指を伸ばした形。  
 ゆーぐーから人差し指・中指・薬指を開いて伸ばし、手のひらを自分に向けた形。  
 よー親指以外の4本の指を伸ばし、指を横に向けて手のひらを自分の方に向けた形。  
 らーちょきから、中指を人差し指の上に重ねた形。  
 りーちょきで自分の方に向かってカタカナの「リ」を書く。  
 るーぐーから親指・人差し指・中指を立てる。  
 れーぐーから親指・人差し指を立てる。  
 ろーちょきの指先を曲げた形。  
 わーちょきに薬指を足した形。  
 をー「お」の形を作って、手前に引く。  
 んー人差し指で自分の方からカタカナの「ン」を書く。

## 〔資料5-21〕「通信文のいろいろ」（5年 P256）

### 1 手紙 (手紙の型)

ア. 初めのあいさつー「拝啓」などの頭語・季節の言葉・相手の様子を尋ねる言葉・自分の紹介など。  
 イ. 本文ー手紙の用件（お礼、お願い、案内、お知らせなど）。  
 ウ. 結びのあいさつー別れのあいさつ・相手の健康を気づかう言葉・「敬具」などの結語など。  
 エ. 後付け・前付けー日付・自分の名前・相手の名前。団体に出す時は、「様」の代わりに「御中」をつける。

縦書きの手紙では、ア. イ. ウ. エ. の順に書きますが、横書きの手紙では、エ. ア. イ. ウ. の順に書きます。  
 点字の手紙は、相手の名前、日付、自分の名前を前付けとして最初に書きますが、日付、自分の名前を後付として最後に書くこともあります。

(例1)

大岩市役所環境課御中  
2020年5月14日

大岩小学校  
5年2組  
寺西広一

初めてお手紙を差し上げます。

ぼくは、大岩小学校5年生の寺西広一といいます。

ぼくのクラスでは、今、ごみ問題について考える学習をしています。一人一人が課題をもって調べるのですが、ぼくは、市全体のごみの量や種類について知りたいと考えました。それで、次のことについて教えていただければと思っています。おいそがしいところを申しわけありませんが、よろしくお願いします。

(質問)

1. 大岩市で1週間に集められるごみの量は・・・

(例2)

大岩市役所環境課御中

拝啓

新緑が美しい季節になりました。初めてお手紙を差し上げます。ぼくは、大岩小学校5年生の寺西広一といいます。

ぼくのクラスでは、今、ごみ問題について考える学習をしています。一人一人が課題を持って調べるのですが、ぼくは、市全体のごみの量や種類について知りたいと考えました。それで、次のことについて教えていただければと思っています。おいそがしいところを申しわけありませんが、よろしくお願いします。

・・・

夏のように暑い日が続いていますが、みなさまお体を大切になさってください。

敬具

平成32年5月14日

大岩小学校  
5年2組  
寺西広一

## 2 ファクシミリ・電子メール (ファクシミリ通信文)

次のことに注意します。

- (1) 発信者名と連絡先をはっきり書く。
- (2) 機械を通ることで読みにくくなることがあるので、…。
- (3) 番号をまちがえないように注意し、…。

(例)

日付：2020年5月14日  
あて先：大岩市役所…  
発信者：大岩小学校 5年2組 寺西広一  
発信枚数：2枚  
連絡先：大岩小学校  
電話番号—  
ファクシミリ番号—  
電子メールアドレス—  
件名：大岩市のごみについて

内容：  
お忙しいところ、…。  
…。  
答えについては、…。  
どうぞよろしく…。

(電子メール)

次のことに注意します。

- (1) 件名  
用件と発信者名を分かりやすく、短く書く。
- (2) 本文
  - (ア) 最初に相手の名前を書く。
  - (イ) あいさつ文・自分の所属を書く。
  - (ウ) 通信の目的や…。
  - (エ) 連絡先を書く。

(例)

あて先—  
件名—ごみについての質問 (大岩小学校 寺西)

大岩市役所環境課 ご担当の方へ

ぼくは、大岩小学校の…。  
1. 大岩市で1週間に集められるごみの量はどれぐらい…。  
…。  
よろしければ、大岩小学校に返信していただけるとありがたいです。  
どうぞよろしくお願いします。

大岩小学校  
電話番号：  
ファクシミリ番号：  
電子メールアドレス：

### 〔資料6-1〕「気になるニュースを集めよう」 (P16)

日本人宇宙飛行士、国際宇宙ステーションへ (ニュースの見出し)  
(ニュースの内容)

○年○月○日  
日本人が国際宇宙ステーションの船長になると聞いて、うれしくなった。  
いつか、だれもが宇宙を旅行できるようになるといいと思った。

## 〔資料6-2〕「帰り道」 (P33)

読書記録の書き方例  
本を読んだら、記録をつけましょう。

日付－4月23日  
読んだ本－どうぶつさいばん ライオンのしごと  
作者・筆者－竹田津実  
ひとこと－ヌーの母親を・・・なるところがよい。  
おすすめ度－ほし五つ

## 〔資料6-3〕「地域の施設を活用しよう」 (P35)

記録カード (4/25)

### 1. 調べること

人間が初めて宇宙に行ったのは、いつか。

### 2. 分かったこと

「1961年4月12日、ソ連のパイロット、ユーリ・ガガーリンが人類史上初めて宇宙飛行を行った。」 (P108)

### 3. 出典

「よくわかる世界の歴史」高本正秋監修，ひかり社，2018年  
〇〇宇宙科学館展示資料「宇宙飛行の歴史」2020年4月15日訪問

## 〔資料6-4〕「漢字の形と音・意味」 (P36～37)

(同じ部分で同じ音)

- (1) 我々の要「求」が認められた。
- (2) プロ野「球」のリーグ戦が始まる。
- (3) けが人は、無事に「救」助された。

よう「きゅう」 や「きゅう」 「きゅう」じよ

**求**                      **球**                      **救**

(1)～(3)の「      」がついた言葉は違う漢字が入りますが、漢字の形に着目すると、どれも「もと\_\_める」の部分が共通しています。また、どれも「きゅう」という音です。このように、同じ部分を持つ漢字は、形ばかりでなく音も共通する場合があります。

次の各文の「      」の漢字には形が共通する部分があります。

1.

- (1) 文「か」を伝承する。
- (2) 校庭の桜が開「か」した。
- (3) 蒸気機関車が、「か」物列車を引っ張る。

2.

- (1) 細心の注意をはらって、手紙を「せい」書する。
- (2) 冷「せい」な判断で、物事に対処する。
- (3) あの「せい」年は、銀行に就職した。
- (4) 「せい」天なので、洗濯物を干す。

3.

- (1) 地層の年代を「そく」定する。
- (2) 規「そく」正しい生活をする。
- (3) 箱の「そく」面に名前を書く。



(同じ部分と意味)

同じ部分を持つ漢字は、意味の上でつながりがある場合があります。

1. ぎょうにんべん—「行く」や「道」などの意味を表す漢字に使われます。

- (1) 「役」所と駅の間を、「徒」歩で「往復」する。
- (2) 母は恩人を招「待」し、「得」意料理をふるまった。
- (3) 裁判官は、法「律」にもとづいて判断する。

ぎょうにんべん

2. にくづき—元は「肉」で、体に関係のある漢字に使われます。

「のう」 しん「ぞう」 「い」 「はい」 「ちょう」

にくづき

次の部分が表す意味を確かめましょう。

うかんむり てへん りっしんべん りっとう

(※部首は裏点枠囲みとする)

### 〔資料6-5〕「漢字の広場 5年生で習った漢字1」(P44)

町のあちこちで、いろいろな出来事が起こっています。次の言葉を使い、出来事を記事にして、町の人に伝えましょう。

(例) お寺では、文化「財」である「仏像」を、そのように「保護」していくかについて話しています。5年生で習った漢字には「」が付けてあります。

花見 「桜」 俳「句」会  
 山「脈」 文化「財」 「仏像」 「歴史」 「保護」  
 畑 「耕」す 「肥」料  
 「復旧」工事 立ち入り「禁」止  
 近所の銭湯 改「築」  
 交通事「故」 現場「検証」 原「因」  
 引越 「団」地 入「居」 「停」車 「往復」  
 「防災」訓練 「燃」える  
 新郎新「婦」 「囲」む  
 ○○川の「河」口 ○○県との県「境」 水「質」 調「査」  
 船 「航」海 次の「寄」港地

### 〔資料6-6〕「主張と事例」(P57)

「心の時間」に目を向けることが、時間と付き合っていくうえで、とても重要である。(主張)

「心の時間」には、・・・という特性がある。(事例から分かること)

分かりやすい例が・・・(事例1)

1日の時間帯によっても・・・(事例2)

身の回りの環境によっても・・・(事例3)

さらに・・・(事例4)

〔資料6－7〕 「天地の文」 (P66)

この文章は次のような仮名遣いで書かれている。

むかいてーむかひて

かぞえーかぞへ

かかわらずーかかはらず

三月ずつー三月つつ

わずかーわづか

〔資料6－8〕 「情報と情報をつなげて伝えるとき」 (P68)

(1) Aとその具体例の関係

例えば・・・

Aには、・・・がある。

(2) Aとその説明(定義)の関係

Aとは、・・・のことだ。

(3) 複数のものと、その共通点という関係

このように・・・

ここから考えられるのは、・・・

〔資料6－9〕 「私と本」 (P82)

ブックトークの例

(はじめーテーマを示す)

ぼくは、「自然の力強さ」というテーマで・・・

(中ー本の魅力を伝える)

1冊目は、「森へ」です。・・・

(おわりーまとめる)

「——これらのような、新たな視点をあたえてくれる本は、ぼくにとって、とても大切なものです。——」 気になる本が・・・

「——これらのような、・・・とても大切なものです。——」  
本との関わりについて述べた部分

〔資料6－10〕 「利用案内を読もう」 (P98)

(利用案内の下部 図書館の地図のあたり)

5わかば市立図書館

1. 中央図書館

若葉駅から徒歩3分

(開館)

月～金 午前9時～午後9時

土日 午前9時～午後7時

(休館日)  
第1月曜日  
2. 東図書館  
わかば駅から・・・

#### ウェブサイト (トップページ)

わかば市立図書館  
お知らせ  
10月4日 東図書館では、わかば市の歴史資料を10月末まで  
展示します。  
10月2日 西図書館では、内装工事のため、11月1日(日)から  
三日間、休館します。  
9月30日 新しい本が入りました。

利用の仕方  
資料を探す  
予約リクエスト  
イベント  
図書館案内  
よくある質問

#### ウェブサイト (イベントのページ)

わかば市立図書館 2020年10月のイベント  
中央図書館  
10月4日(日) 15時～16時 工作教室 小学生以上  
10月4日(日) 16時～17時  
10月  
10月  
.....  
東図書館  
10月.....

#### [資料6-11] 「熟語の成り立ち」 (P100)

(漢字2字の熟語)

2字の熟語からできている.....次のようなものがあります。

1. 似た意味の漢字の組み合わせ - 収納 (おさめる, おさめる)
2. 意味が対になる漢字の組み合わせ - 縦横 (たて, よこ)
3. 前の漢字が後の漢字を修飾する関係にある組み合わせ - 山頂 (やま, いただき)
4. 「...を」「...に」に当たる意味の漢字が後に来る組み合わせ - 洗顔 (あらう, かお)

次の熟語は1. ~ 4. のどの組み合わせでしょう。漢字の意味から考えましょう。

忠誠 (まごころ, まこと)  
強敵 (つよい, てき)  
養蚕 (やしなう, かいこ)  
玉石 (ほうせき, いし)

帰国（かえる，くに）  
苦楽（くるしい，たのしい）  
仁愛（思いやり，愛する）  
温泉（あたたかい，いずみ）

〔資料6-12〕「漢字の広場 5年生で習った漢字2」（P102）

次の言葉を使い，遊園地での人々の行動を考えて，文章に書きましょう。5年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

（例）「銅像」の前で記念写真を撮っています。

「貸」し出し 「確」かめる 「略」図 「規則」 がびょうで「留」める  
「支」える 「銅像」 「仮」面 「似」顔絵 食べ物の「容」器 「比」べる  
「余」る 「酸」味 「減」らす 「増」やす 順「序」 「祖」父  
「断」る 「条件」 「可能」 「許可」 「混雑」 大「勢」

〔資料6-13〕「イーハトーヴの夢」（P123）

（写真説明）

賢治が農業技術を学んだ盛岡高等農林学校の本館は，現在，岩手大学農学部附属の農業教育資料館になっている。

賢治が先生になった郡立ひえぬき農学校は，後に県立花巻農学校となる。賢治は農業だけでなく，英語や数学も教えた。

羅須知人協会の建物は，県立花巻農業学校に移され，復元された。この教室で，賢治は農民のために芸術の話などをした。伝言板には，今も，賢治が近くの畑にいるかのように

したの  
はたけに  
おります  
けんじ

の文字が残されている。

〔資料6-14〕「みんなで楽しく過ごすために」（P133）

（進め方の例）

- (1) 一人ずつ意見を出し合う。
- (2) たがいに質問し合い，疑問などを明らかにする。
- (3) 目的や条件に照らして話し合い，仮の結論を決める。
- (4)
- (5)

考えを広げる話し合いー(1)(2)

考えをまとめる話し合いー(3)～(5)

P135

（記録用紙の例）

関口  
主張ーじゃんけんおにごっこ

理由— 1年でも簡単 じゃんけんをするので、学年や足の速さに関係なく楽しめる

根拠— 幼稚園のときにしたことがある（幼稚園の子どもでもできる。 みんなが楽しめた。）

岡田

主張— ……

P136

（記録用紙の例）

原因— ルールが全員で共有できていなかった

改善できること— ルールを箇条書きにして整理する。 1年生にわかりやすいように、説明するときに実際にやってみせる。

### 〔資料6-15〕 「漢字の広場 5年生で習った漢字3」 (P140)

次の言葉を使って、作家になったつもりで冒険の物語を書きましょう。5年生で習った漢字には「」がつけてあります。

（例）ある日、魔法使いのもとに、友達から招待状が届きました。

魔法使い 「招」待「状」 ねこを「飼」う 船が「現」れる 「移」動  
「快」適 「暴」風雨 「非常」事「態」 気「象」 予報士 「破」損 「墓」場  
「独」りぼっち 「迷」う 「限」界 「殺」風景 「険」しい 「枝」  
「夢」 「絶」望 「救」助 感「謝」 正「義」 「質」問 博「識」  
ねこと「再」会 「喜」ぶ 「久」しぶり

### 〔資料6-16〕 「日本文化を発信しよう」 (P154)

（パンフレットの構成の例）

素材を生かした食文化「和食の魅力」（表紙・目次）

1. 新鮮な食材の持ち味をいかす(2)
2. 栄養バランスのよさ(3)
3. 季節と自然の美しさ(4)
4. 和食と行事(5)
5. 日本各地の伝統食(6) (7)
6. 私たちの地域の伝統食・参考（裏表紙）

(P155)

（ページの割り付けの例）

見出し

リード文（ページの導入）

小見出し— 汁三菜と栄養バランス（写真・図解）

小見出し— うまみと栄養バランス（写真）

コラム— ご飯の役割について

(P155)

(下書きの例)

和食は、栄養満点（見出し）

訂正

和食を食べて健康に

「うまみ」を生かして（小見出し）

和食のおいしさの・・・ふくまれています。

訂正

なんといっても「うまみ」です。→なんといっても「うまみ」。

(P156)

(紙面の例)

和食を食べて健康に

伝統的な和食は・・・取り入れてみてはどうですか。

一汁三菜でバランス良く

「一汁一菜」は和食の伝統的な・・・栄養バランスがよくなります。

「一汁三菜のこんだて」（写真）

主食（ご飯など）一炭水化物

汁物（

主菜

副菜

「うまみ」をいかして

和食のおいしさの秘密は・・・満足感が得られるのです。

（だし、しょうゆ、みその写真）

主役はご飯（コラム）

どんなおかずにもぴったり・・・ご飯は、魚、肉、・・・

理想的な主食・・・ご飯は、パンと比べて・・・

(表紙・裏表紙の例)

表紙

和食の魅力（題名）

（目次）

.....

裏表紙

参考（参考にした資料）

中川高史「にほんの食文化」ひかり社、2017年

細川かおり「みんなが知らない和食のひみつ」山村図書、2020年

〔資料6-17〕「カンジー博士の漢字学習の秘伝」(P160)

(秘伝その1)

複雑な形や、見慣れない形の漢字は、次のような点に注意する  
線の数、点があるかないか、突き出すか突き出さないかなど  
演奏が「じょうたつ」する  
弟子 「『たつ』という漢字の、横の線は何本かな。」

(秘伝その2)

複数の音訓を持つ漢字は、読み方ごとに熟語や例文を作ると、身につけやすい。  
郵便「便」局が遠くて「便」りを出すのが不「便」だ。  
はかせ 「前の文の「」のことばは全て同じ漢字じゃ」

(秘伝その3)

漢字を学習するときには、送り仮名も確認する。  
生産の拡大を「こころみる」  
弟子 「送り仮名は『る』かな、『みる』かな」

(究極の秘伝)

漢字を知り、学習にいかすこと。

- 「」で示した言葉はどんな漢字か調べてみよう。
  - 体操の「こうしゅう」に参加する。
  - 「はくぶつ」館で、絹の歴史を学ぶ。
  - 米俵を荷台に「つむ」。
  - 「はつ」日の出をおがむ。
- 「」は同じ漢字です。言葉の意味を考えながら読みましょう。
  - 「火」花 聖「火」リレー
  - 「家」路 作「家」 「家」賃
  - 「行」列 親孝「行」
  - 「金」具 預「金」 黄「金」
- 「」で示した漢字の送り仮名を確かめましょう。
  - 持ち物を一覧表にして「たしかめる」。
  - 鉄鋼の輸出量が「ふえる」。
  - 死亡事故の原因を「あきらか」にする。

〔資料6-18〕「漢字の広場 5年生で習った漢字4」(P162)

次の言葉を使って、テレビ局で見学したことについて、家の人に分かりやすく伝える文章を書きましょう。  
5年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例) 第1スタジオでは、国「際」「情勢」をテーマにした番組の撮影をしていました。

会議室—番組「制」作	「提」案	「資」料	「複」数		
第1スタジオ—ニュース	石や岩などの「鉱」物	「輸」入	「貿易」	利「益」	
国「際」「情勢」	「解」説	「報」道			
第2スタジオ—歌番組	「準備」	「設」営	指「示」	長さを「測」る	
第3スタジオ—「武」士	「貧」しい	「演」技	「妻」	「質」素	指「導」
第4スタジオ—クイズ	正「解」	「逆」転	成「績」	「賞」品	
第5スタジオ—討論	「税」金	主「張」	「述」べる	「賛」成	「政」治家

〔資料6-19〕「漢字の広場 5年生で習った漢字5」(P181)

次の言葉を使って、商店街の通りやお店の中の様子を、文章に書きましょう。会話も、想像して入れましょう。5年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例)「弁」当屋では、半「額」セールが始まりました。さっそく、「二つください。」と注文が入りました。

銀行－「応」対 犯「罪」「防止」 「職務」  
米屋－「精」米 「貯」蔵  
献血ルーム－血「液」を「採」る 血液「型」  
「眼」科－医「師」 薬が「効」く  
100円ショップ－百円「均」一 「価格」 「豊」富 小麦「粉」 消「費」税  
手芸店－「布」 「綿織」物 「編」み物 「領」収書 「興」味  
画廊－芸「術」 「個性」的 「評判」 「版」画  
「弁」当屋－「衛」生 消「毒」 清「潔」 半「額」 「接」客  
通り－夕「刊」 「厚」着

〔資料6-20〕「漢字を正しく使えるように」(P201)

どの漢字を使うか迷ったり・・・次のように考えてみましょう。

1 訓読みの場合

(1) 漢語で言い表してみる。

穀物を収納庫に「うつす」。(移動の「い」, 写真の「しゃ」)

石川「この『うつす』は『移動する』と言い換えられるな。だから・・・。」

(2) 別の訓読みで言い表してみる。

部屋の窓を「あける」。(あかるい, ひらく)

大久保「『窓をあける』というのは、『窓をひらく』と言い換えることができるということは・・・。」

(3) その漢字を使った熟語を考えてみる。

延長戦の末, 「やぶれる」。(敗退の「はい」, 破損の「は」)

伊藤「『敗退』『敗北』『破損』『連破』・・・。試合に負けるという意味を表す言葉に使われているのは・・・。」

2 音読みの場合

その漢字の訓読みを考えてみる。

「しょう」人数で学習をする。

小川「大小の『しょう』の訓読みは『ちいさい』, 少年の『しょう』の訓読みは『すくない』。『しょう人数』は『すくない人数』ということだから・・・。」

1. 1, 2のいずれかの方法を使い, 「」で示した部分を同じように考えてみましょう。

(1) 正月は, 母の郷里に「かえる」(帰国の「き」, 返事の「へん」)

(2) 株式会社に「つとめる」(通勤の「きん」, 努力の「ど」, 任務の「む」)

(3) 温かいスープが「さめる」(おぼえる, ひえる)

(4) 諸国を旅して, 見「ぶん」を広める。(きく, わかる)

(5) 試合再「かい」のアナウンスに, 観衆は喜んだ。(あう, ひらく)

2. 次の「・・・」で示した部分は, 読み方が同じであるために間違いやすい漢字の例です。正しい漢字を使うためには, どのように考えればよいでしょうか。

(1) すずしい「こ」かげでやすむ。

(2) ひとり「ごと」をつぶやく。



- (3) チーム一丸となって、せい「か」をあげる。
- (4) 興味や「かん」しんは、十人十色だ。

〔資料6-21〕資料「思い出を言葉に」 (P210)

(1. で書き出したもの)

入学式「自覚」

1生が小さくておどろいた。・・・

1年生にやさしくしようと思った。

岩崎「『思った』よりも『決めた』の方が自覚したことが伝わりそう。1年生に対して感じたことを強調するために同じ調子でくり返してみようかな。」

(作品の例)

1年生の小さな手から

・・・

6年生になったばかりの入学式

〔資料6-22〕「今、私は、ぼくは」 (P213)

(矢島さんのスピーチメモ)

はじめー考えていること

なかーきっかけ 感じたこと

おわりー伝えたい思い

1. 考えていること

将来の夢は管理栄養士

2. きっかけ

管理栄養士の小島さんの特集したテレビ番組

(1) 小島みのりさんの紹介 (資料\_\_1)

マラソン高田選手の・・・

(2) 高田選手と小島さん (資料\_\_2)

ア. ....

(矢島さんが提示する資料)ー(なか)の部分

資料1 話題を示した資料

きっかけ

「小島みのりさん」

マラソン高田選手専属の管理栄養士

## 資料2 要点をまとめた資料

2017年7月 けがから不調に  
2017年9月 食事の改善→小島さんへ 小島さんが献立をつくる  
2018年1月 練習で成長  
2019年4月 国際大会で活躍

## 資料3 特に伝えたいことを示す資料

体はみんな  
食べたものから  
できている

(矢島さんのスピーチ) - (なか) の部分

私が管理栄養士という仕事に興味をもったきっかけは (間を取り  
資料1を見せる) 小島みのりさんという・・・

### 〔資料6-23〕「漢字の広場 5年生で習った漢字6」(P216)

いつ、どんなことがあったか、そのときどんな気持ちだったか、次の言葉から想像し、文章に書きましよう。5年生で習った漢字には「」がつけてあります。

(例) 六年前、校「舎」の周りの「桜」が満開の頃に、小学校に入学した。

入学式-「桜」 校「舎」  
家-学習の習「慣」  
クラブ活動-所「属」 「基」本 「得」意  
「授」業-恩「師」  
友達-友「情」 「永久」  
社会見学-「製造」「過程」 「効率」がよい  
修学旅行-新「幹」線  
運動会-「総」力 「団」結 「圧」勝  
新聞作り-「編」集 「経」験 「構」成を決める 「紀」行文  
話し合い-「責任」 「統」一 「報告」  
卒業式-卒業「証」書 大「志」 学校の「講堂」 「在」校生

### 〔資料6-24〕「課題の見つけ方、調べ方」(P252)

(書き出した例)

地域を活性化するために  
1. 外からその地域に来る人に向けて  
これまでのよさを大切にすゝ地域の伝統工芸を広く  
知ってもらえるような取り組みをする。

新たなことを実現する－案内板の表記などについて  
海外の方が分かるような工夫をする。

2. その地域に住む人に向けて  
これまでのよさを大切にする－  
新たなことを実現する－

### 〔資料6-25〕 「考えを図で表そう」 (P254)

アイデアを出したり、考えをまとめたりするときは、図や表を書きながら考えましょう。

1. 考えをつなぐ、広げる  
テーマを表す言葉を書き・・・  
考えや物事のことを・・・

(〇〇県の特徴)

〇〇県  
→文化→落語  
→行事→祭り, もちつき  
→人口  
→面積  
→食べ物→おかし, 和食  
→歴史→お城, 古墳

2. 分類する  
似ている事柄どうしを・・・  
たくさんの事柄を・・・  
(夏をすずしく過ごす方法)

(1) 電気を使う  
エアコン, せんぷうき  
(2) 電気を使わない  
緑のカーテン, うちわ, 打ち水  
(3) 涼しい気分になる  
風鈴, 寒色系の色の家具を置く

3. 順序を確かめる  
時間や事柄の・・・  
進め方を考えたり・・・  
(卒業文集作成の計画)

1. 内容と形式を決める
2. 担当を決める
3. 個人のページを書く, グループで話し合う (→グループのページを書く)
4. 清書する
5. 印刷・製本

4. 同じ点と異なる点で比べる

二つの物事について・・・

二つの物事を・・・

(外国の映画を吹き替えで見る場合)

(1) 共通の特徴

外国語を訳している

(2) 吹き替えの特徴

吹き替えられた声を楽しめる

字を読まなくてよい

(3) 字幕の特徴

もともとの演者の声が聞ける

字を読まなければならない

5. 観点をあげて比べる

物事をどのような観点で比べたいか、はっきりと観点をあげてから内容を書く。

観点ごとに比べられ・・・

(水溶液の性質)

(調べた観点)

様子

におい

蒸発－蒸発させると残る粉

リトマス－リトマス紙の変化

1. 食塩水

様子－水と同じ

におい－なし

蒸発－白い物

リトマス－青→青 赤→赤

2. アンモニア水

.....

〔資料6-26〕「表彰状」(P306)

表彰状

□□□さん

あなたは、6年間の国語学習で、言葉についてたくさんのことを学びました。特に□□□についての努力は、かけがえのない経験です。中学校に行っても、ぜひいかしてください。ここに6年間の学びを表彰します。

「中学校へつなげよう(POO)」や「『たいせつ』の・・・

そして、特にがんばったことや、力がついたと感じることを□□□に当てはまるように書き、自分に表彰状をおくりましょう。

## 点字の初出一覧及び表記に関する学習事項

学年	巻	ページ	指 導 事 項	単 元 名
導入教材	点字導入編		清音・濁音・半濁音・拗音・拗濁音・拗半濁音・長音・促音・撥音・特殊音・第1カッコ・棒線・数符・句点・読点・第1カギ	入門教材
1 年 上	1-1	8	撥音 ㄱㄱ てんき	いい てんき
			長音 ㄱㄱ いこー	いい てんき
			濁音 ㄱㄱㄱ とびだそー	いい てんき
		10	第1カギ ㄱㄱ～ㄱㄱ 「1ねんせいに なったら」	おはなし たのしいな
			数符 ㄱㄱ 1ねんせい	おはなし たのしいな
			促音 ㄱㄱ なったら	おはなし たのしいな
		13	半濁音 ㄱㄱㄱ パンダ	あつまって はなそう
		14	拗音 ㄱㄱㄱ いって みましょー。	せんせいに あわせて
			句点(まる) ㄱㄱ いって みましょー。	いって みましょー。
		15	拗濁音 ㄱㄱㄱㄱ じゅんび	せんせいに あわせて いって みましょー。
		20	読点(てん) ㄱㄱ 「おんがくしつに、」	こんな もの みつけたよ
		43	棒線 ㄱㄱㄱ さる ㄱㄱㄱ ざる	かきと かぎ
		44	二マスあけ(文の最初)	ぶんを つくろう
		49	「つまずく」の表記	わけを はなそう
		51	長音教材 「おかあさん」「おにいさん」「おねえさん」「おとーさん」の表記	おばさんと おばあさん
		64	第1つなぎ符 ㄱㄱ	あいうえおで あそぼう
			右向き矢印 ㄱㄱㄱㄱ めだか ㄱㄱㄱㄱ かみ	あいうえおで あそぼう
			「せんべい」の表記	あいうえおで あそぼう
		66	一マスあけ(読点のあと)	おおきく なった
			「おおきさ」の表記	おおきく なった
			名前を書く位置	おおきく なった
		77	第1カッコ ㄱㄱ～ㄱㄱ ㄱㄱロシアのみんわㄱㄱ	おおきな かぶ
		78	項目の書き方 ㄱㄱㄱㄱ	おおきな かぶ
		80	「お」と「を」の表記	「わ」「を」「え」をつかおう
		81	空欄符号(二マス空欄) ㄱㄱㄱㄱㄱㄱ ㄱㄱㄱㄱㄱㄱわ, ㄱㄱㄱㄱㄱㄱを ㄱㄱㄱㄱㄱㄱ。	「わ」「を」「え」をつかおう
		84	二マスあけ(句点のあと)	すきな もの, なあに
		99	「いちばん」の表記	1ねんせいの うた
		112	のばす音の書き方(カタカナ) スープ	かたかなを みつけよう
120	数字 1から10	かずと かんじ		
	ひとつ, ふたつ, みつつ・・・, とお	かずと かんじ		
122	点線 ㄱㄱㄱㄱ 1まい 2まい 3まい ㄱㄱㄱㄱ	かずと かんじ		
巻末	点字ドリル(資料2参照)			

1 年 下	1-2	5	「ちぢむ」の表記	くじらぐも
		19	項目の書き方 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (1)	しらせたいな, 見せたいな
		32	空欄符号(長い空欄) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	じどう車くらべ
		38	中点 ⠠ はなす⠠ きく	ともだちのこと, しらせよう
		46	ふたえカギ ⠠⠠~⠠⠠ 『 』	おかゆの おなべ
		61	第2つなぎ符(送りがなの書き方) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ものの 名まえ
		68	詩の書き方	かたつむりの ゆめ
		124	特殊音ヴィ ⠠⠠⠠ ジャーヴィス	この本, 読もう
		124	感嘆符 ⠠ うまれたよ!	この本, 読もう
		125	特殊音ティ ⠠⠠⠠ ジャスティン	この本, 読もう
		卷末	点字ドリル(資料2参照)	
2 年 上	2-1	43	重ね数字の書き方 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 2, 3日	たんぼぼぼの ちえ
		94	特殊音ディ ⠠⠠⠠ キャンディー	お気に入りの本をしよう かいしよう
		129	歴史的仮名遣い ゐ(⠠⠠) ゑ(⠠⠠) 「昔の文字のい/え」	ことばあそびをしよう
		141	特殊音ジェ ⠠⠠⠠ ジェス	この本, 読もう
		141	特殊音フェ ⠠⠠⠠ フェルダ	この本, 読もう
		142	特殊音シェ ⠠⠠⠠ シェーフアー	この本, 読もう
		142	特殊音ファ ⠠⠠⠠ シェーフアー	この本, 読もう
		卷末	点字ドリル(資料2参照)	
2 年 下	2-2	81	両向き矢印 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ かぶる ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ぬぐ	にた いみのことば, はんたいの いみのことば
		卷末	点字ドリル(資料2参照)	
	2-3	140	特殊音ウィ ⠠⠠⠠ ウィルバー	この本, 読もう
		140	疑問符 ⠠ なんでももってる(?)男の子	この本, 読もう
		卷末	点字ドリル(資料2参照)	
3 年 上	3-1	12	第1指示符 ⠠⠠~⠠⠠ ⠠⠠⠠おとや⠠⠠⠠	きつつきの商売
		27	第1小見出し符 大__ ふりかえろう	きつつきの商売
		29	日付の略記 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 4/21	きつつきの商売
		44	波線 ⠠⠠ 1 ⠠⠠⠠ 4 の	きちんとつたえるために
		56	第一星印 ⠠⠠⠠	こまを楽しむ
		62	手紙の書き方	気もちをこめて「きてください」
		卷末	点字ドリル(資料2参照)	
	3-2	85	俳句の書き方	俳句を楽しもう
		90	伏せ字の○ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠図書館	引用するとき
		127	ローマ字の書き方	ローマ字
		128	外文字符 ⠠ a	ローマ字
		125	外国語引用符 ⠠~⠠ ⠠⠠okâsan⠠⠠ のよーに	ローマ字
		124	大文字符 ⠠ ⠠⠠Yamazaki	ローマ字

